

様式第4号（第5条関係）

平成28年3月31日

古賀市議会議長

議員名 内場 恭子



平成27年度政務活動費収支報告について

古賀市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第1項に基づき、別紙のとおり政務活動費収支報告書を提出します。

- 1 平成27年度政務活動費収支報告書
- 2 添付書類
 - (1) 政務活動費収支報告書（別紙1）
 - (2) 政務活動費支出内訳書（別紙2）
 - (3) 領収書又はこれに準ずる書類

別紙1

平成27年度政務活動費収支報告書

議員名 内場 恭子

1 収 入

政務活動費 100,000円

2 支 出

項 目	金 額 (円)	支出内訳書の番号
調査研究費		
研修費	9,762	2,5,6,7
広報費	91,539	1,8
広聴費	0	
資料作成費	5,660	9
資料購入費	22,000	3,4,11
事務費	6,562	10
支出合計		135,523

3 残額 0円

別紙2

平成27年度政務活動費支出内訳書

番号	期 間	内 容	経費 (円)	備考
1	平成27年6月～ 平成27年12月	<p>「こが民報」の発行と配布。8月号15000枚 39,626円</p> <p>「こが民報」の発行と配布。10月号15000枚 40,026円</p> <p>「こんにちはうちば 恭子です」の発行と配布。115号から118号まで4,000枚 8,994円 計88,646円-①</p>	<p>39,626円 × 2.3/10 (按分率 23%) = 9,114円 -② 39,626円 - 9,114 円 = 30,512円</p> <p>40,026円 × 2.4/10 (按分率 24%) = 9,607円 -③ 40,026円 - 9,607 円 = 30,419円</p> <p>8,994円 × 1.2/10 (按分率 12%) = 1,079円-④ 8,994円 - 1,079 円 = 7,915円 ② + ③ + ④ = 19,800円-⑤ ① - ⑤ = 計 68,846円</p>	資料添付1
2	平成27年10月19日	議会改革を考える研修会	3,355	報告書添付 資料添付2
3	平成27年12月24日	福岡民教連「福岡の民間教育」購読料	4,000	資料添付3
4	平成27年12月24日	自治体問題研究所「住民と自治」購読料	12,000	資料添付4

5	平成 28 年 1 月 8 日	会派合同研修会	2,230	報告書添付 資料添付5
6	平成 28 年 1 月 15 日 1 月 22 日 1 月 30 日 2 月 9 日	バスを考える会 平成 27 年度政策推進 会会派合同研究会	1,177	報告書添付 資料添付6
7	平成 28 年 2 月 2 日	福岡女性議員ネット ワーク研修会	3,000	報告書添付 資料添付7
8	平成28年1月～ 平成28年3月	「こが民報」の発行と 配布。1月号 10000 枚 26,084 円	26,084 円 × 1.3/10 (按分率 13%) = 3,391 円 26,084 円 - 3,391 円 = 22,693 円	資料添付8
9	平成 27 年 6 月～ 平成 28 年 3 月	資料コピー代	5,660	
10	平成 27 年 6 月～ 平成 28 年 3 月	事務用品購入 (ファイ ル・FAX用インクな ど)	6,562	
11	平成 27 年 4 月～ 平成 28 年 3 月	書籍購入	6,000	

支出内訳書の番号 2	
調査研究報告書	
1 名称	議会改革を考える研修会
2 目的	会津若松市議会の議会改革の取り組みについての研修
3 実施時期	平成 27 年 10 月 19 日 (月)
4 実施場所	古賀市中央公民館 研修棟 304 号
5 参加者	内場恭子
6 その他	<p>会津若松市議会議員 目黒章三郎氏を招き、会津若松市議会の議会改革の取り組み状況を議会改革運動論とともに学び、その課題と解決策などを学習、研究を行った。</p> <p>議会改革の必要性や議会のそもそも論、議会基本条例の必要性と、市民の立場に立った視点からの実践例を基に、学習し討議した。</p> <p>「学校の『公民』の教科書には、地方議会の政治に関する内容が記述されているが、地方議員はこの中学生の公民のページの講義ができて当然である。」との指摘があり、改めて地方議員の学習と研鑽の必要性を痛感した。</p> <p>資料添付 2</p>

A



議会改革運動論

～会津若松市議会の議会改革の取り組み～

会津若松市議会議員 目黒章三郎



中学校の公民の教科書に地方の政治・自治に関する内容が記載されています。

栗山町議会の議会制度改革の記事

新しい社会

議会も首長も、互いに抑制しあい均衡を保つ関係

首長と地方議員という、2種類の代表を住民が選ぶこと(二元代表制)

二元代表制とはどのようなしくみか...説明しましょう。

60年代の
北大
かたばら
報告会

チェンバース
バランス

* 地方議会に与野党はない

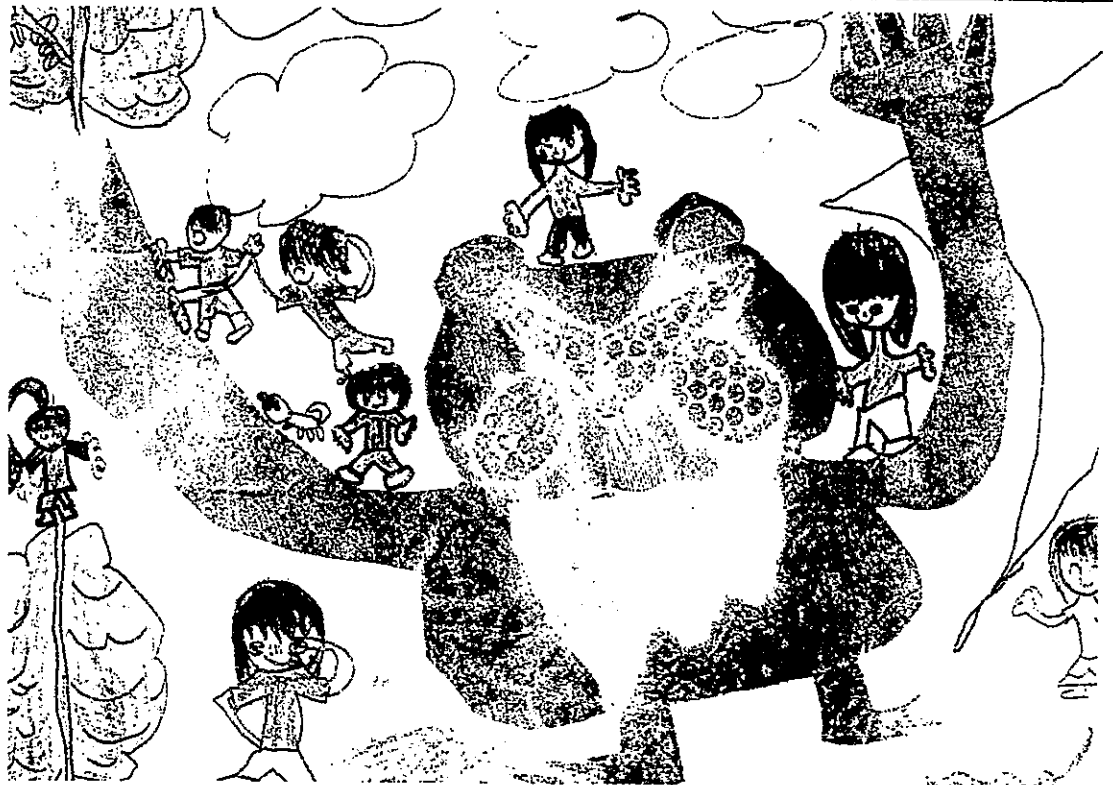
* 地方議員は中学生公民のこのページの講義ができてあたりまえの言葉

福岡県民間教育研究団体連絡協議会（福岡民教連）

福岡の民間教育

サークル通信 427号

2015年4月6日 発行



みんなおいでよ！いっしょにあそぼ！（2年生 絵と紙版画 筑紫）

実践記録

- 大ちゃん先生の物語 田舎っぺ大将の四方山話 ① 五島憲次
- 『見方』を変えれば子どもの『味方』 ⑤ 香川龍二
- 毎日せんせいのワーホリな日常 ⑫ 西腹 裡里古
- 365歩のマーチ⑦ ～生活綴り方の試み③～ 茂山 隆介 ★下段掲載 P22～25

特別寄稿

- おきなわ便り38 仲間を返せ！ 劇団風の子九州沖縄担当 上村洋
- ◇ あなたの胸の琴線を静かに激しく強く打つ詩がある 耳を澄ませば ⑥ 坂田トヨ子
- ここだけの話55 劇団道化 篠崎 省吾
- ◇ 子どもと音楽と 教育の仕事 40年をふりかえって ⑩ 松尾喜美子
- 『私の教育小史 綴り方の中の子ども⑨』～毅然とすること①～ 井田美恵子

下段記事

- 健やかに生きよう⑥by なおこ
- かんなの漫画「ちょっとボレボレ」63
- 藤岡忠浩先生の実践・工作62
- Kaori先生の『子どもと一緒に楽しい本を！』⑥
- サークルと私 ⑤ 田川生研 松村奈留美
- サークル情報・例会・大会案内
- ★第1回 今さら聞けないせんせいの学校 案内 P14～15

福岡県民間教育研究団体連絡協議会（福岡民教連）

福岡の民間教育

サークル通信 428号

2015年5月6日 発行

（5年生文集『プライド』表紙画・作文の会 藤学級）



下段記事

- ★新連載
- 八女生活指導研究会の仲間と私 ① 下川友博
- 新米区長、地域を駆ける ① 阿世賀寛行

実践記録

- 毎日せんせいのワーホリな日常 ⑬ 西腹 裡里古
- 大ちゃん先生の物語
- 田舎っぺ大将の四方山話 ⑫ 五島憲次
- 『見方』を変えれば子どもの『味方』 ⑩ 香川龍二
- 365歩のマーチ ⑧ 茂山隆介

★5年と3ヶ月続く連載
63回を迎えた『藤岡先生の理科の実験・工作』

特別寄稿

- ◇あなたの胸の琴線を静かに激しく強く打つ詩がある 耳を澄ませば ⑥ 坂田トヨ子
- おきなわ便り 39 校庭の隣は米軍基地 劇団風の子九州沖縄担当 上村洋
- ここだけの話 56 劇団道化 篠崎 省吾
- 子どもと音楽と 教育の仕事 40年をふりかえって ⑩ 松尾喜美子
- 『私の教育小史 綴り方の中の子ども』⑩～ 毅然とするとということ②～ 井田美恵子

下段記事

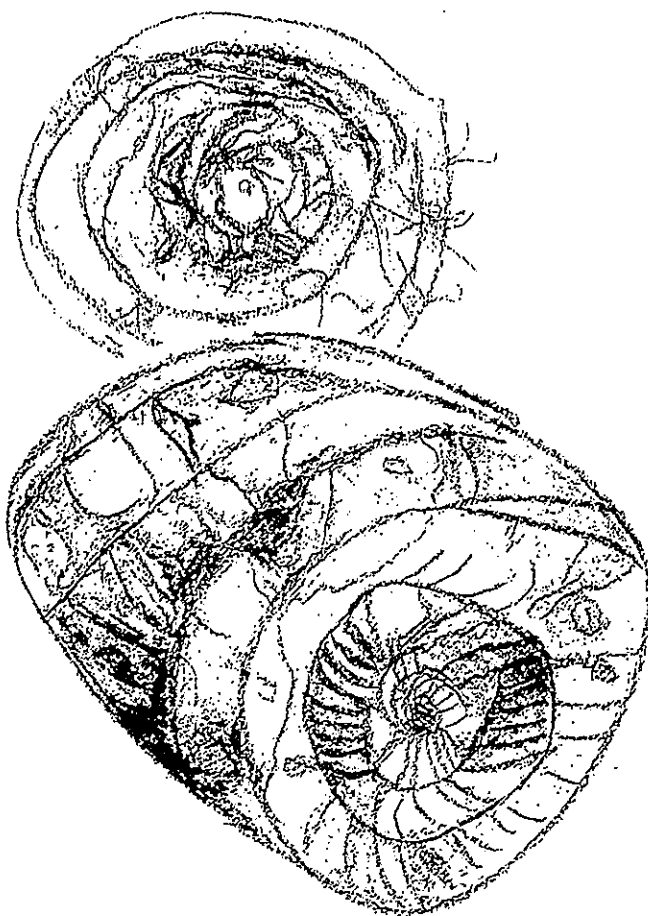
- 健やかに生きよう ⑩by なおこ
- かんなの漫画「ちよっとボレボレ」 64
- 藤岡忠浩先生の実験・工作 63
- Kaori先生の『子どもと一緒に楽しい本を』 ⑩
- サークルと私 八女生活指導研究会の仲間と私 ① 下川友博
- サークル情報
- 新米区長、地域を駆ける ① 阿世賀寛行

福岡県民間教育研究団体連絡協議会（福岡民教連）

福岡の民間教育

サークル通信 429号

2015年6月6日 発行



食べたい里芋 6年生 絵（4月）安徳南小

実践記録

香川さんが訴える、見失ってはならない子どもも親！
初回から大きな共感の渦が広がった連載も
いよいよ、今号で最終回を迎えました！

「見方」を変えれば子どもの「味方」⑩ 香川龍二

□ 毎日せんせいのワーホリな日常 ⑩ 西腹 狸里古
□ 大ちゃん先生の物語
田舎つべ大将の四方山話 ⑩ 五島煮次

□ 365歩のマーチ ⑩ 茂山 隆介

特別寄稿

◇ あなたの胸の琴線を静かに激しく強く打つ詩がある 耳を澄ませば ⑦ 坂田トヨ子

■ おきなわ便り 40 劇団風の子九州沖縄担当 上村洋

■ ここだけの話 57 劇団道化 篠崎 省吾

■ 「私の教育小史 繰り方の中の子ども⑩」～毅然とするとということ②～ 井田美恵子

下段記事

□ 健やかに生きよう⑩by なおこ

□ かんなの漫画「ちょっとポレポレ」65

□ 藤岡忠浩先生の実験・工作64

□ Kaori先生の『子どもと一緒に楽しい本を』⑦

□ サークルと私 八女生活指導研究会の仲間と私 ② 下川友博

□ 新米区長、地域を駆ける ② 阿世賀寛行

■ サークル情報 ※例会・大会案内等

※チラシ同封（生研・教教協・歴教協）

福岡県民間教育研究団体連絡協議会（福岡民教連）

福岡の民間教育

サークル通信 430号

2015年7月6日 発行

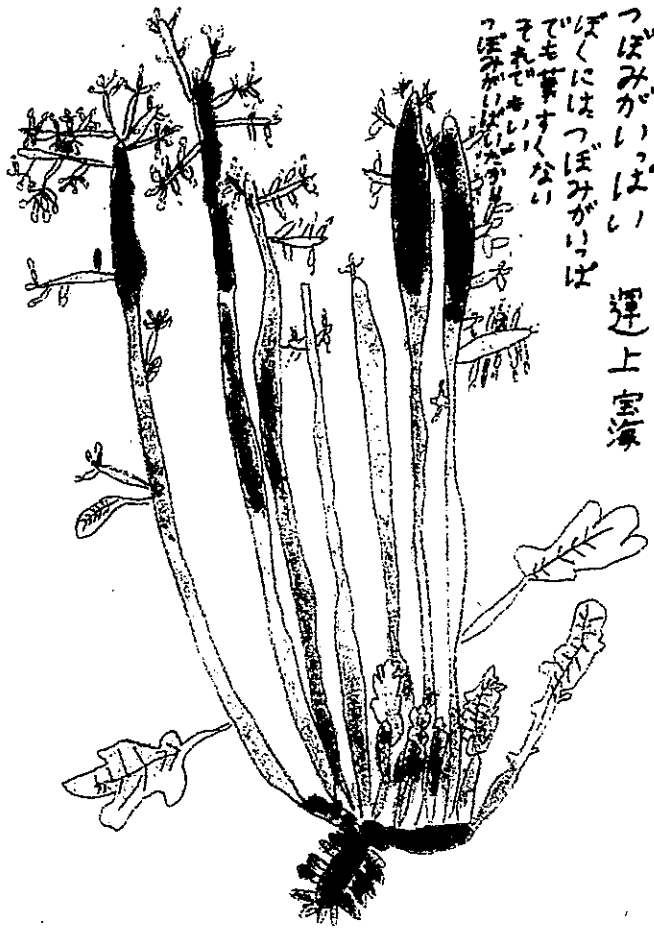
実践記録

新連載 詩に魅せられた柚先生の心揺さぶる記録

人生のテーマはあえて言えばこう
子どもとともに詩人になろう

精屋郷公立小学校 田村 楠

- 毎日せんせいのワーホリな日常 ⑤ 西慶 裡里古
- 大ちゃん先生の物語 田舎つべ大将の四方山話 ④ 五島憲次
- 365歩のマーチ ④ 茂山 隆介



つぼみがいっばい 運上宝塚
 びくにはつぼみがらば
 でもすくなくい
 子れをい
 つぼみがらば

大分県作文の会・九州作文の会
 伊井学級（4年生）花の詩画集より

特別寄稿

- ◇あなたの胸の琴線を静かに激しく強く打つ詩がある 耳を澄ませば ⑥ 坂田トヨ子
- おきなわ便り 41 劇団風の子九州沖縄担当 上村洋
- ここだけの話 58 劇団道化 篠崎 省吾
- 子どもと音楽と 教育の仕事 40年をふりかえって ⑧ 松尾喜美子

下段記事

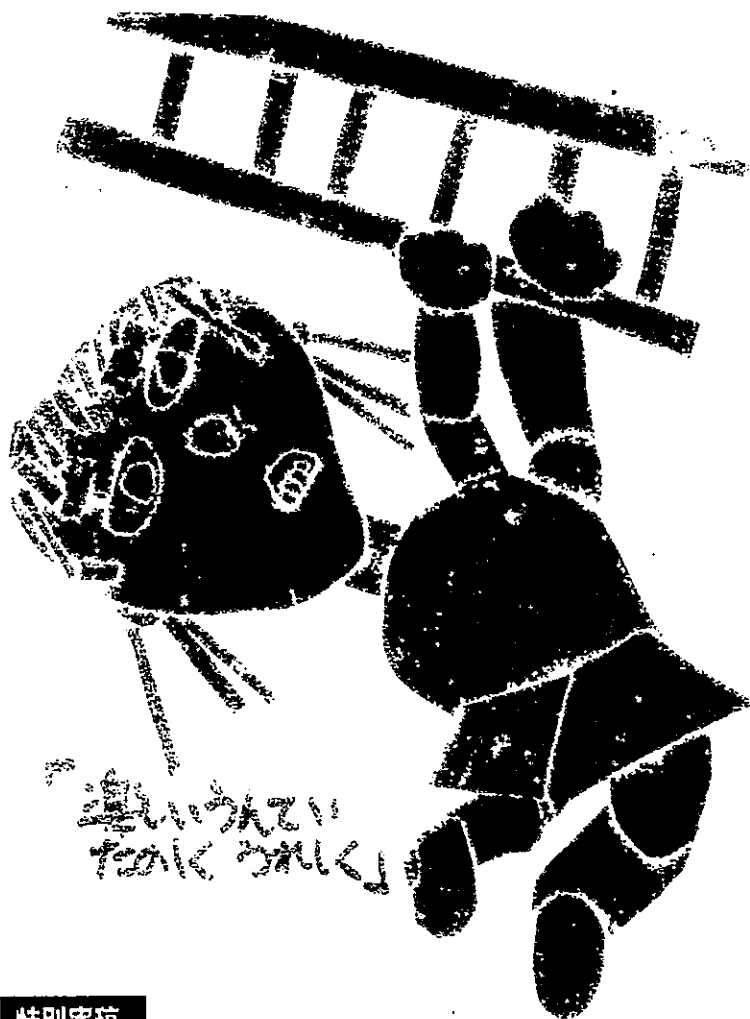
- 健やかに生きよう ⑨ by なおこ □ かんなの漫画「ちょっとボレボレ」 66
- 藤岡忠浩先生の実験・工作 65 □ Kaori先生の『子どもと一緒に楽しい本を』 ⑩
- サークルと私 八女生活指導研究会の仲間と私 ③ 下川友博
- □ 新米区長、地域を駆ける ③ 阿世賀寛行
- サークル情報 ※例会・大会案内等 ※チラシ同封（生研・数教協・民教研筑豊集会）

福岡県民間教育研究団体連絡協議会（福岡民教連）

福岡の民間教育

サークル通信 431号

2015年8月6日 発行



実践記録

- 大ちゃん先生の物語
田舎つべ大将の四方山話 ⑤ 五島憲次
- 人生のテーマはあえて言えばこう
子どもとともに詩人になろう ② 田村 楠
- 毎日せんせいのワーホリな日常 ⑥ 西腹 狸里古
- 特別支援学級・生活綴り方の試み
〜再びの敦子さん ①〜 茂山 隆介

特別寄稿

- ◇ あなたの胸の呼吸を静かに激しく強く打つ時がある 耳を澄ませば ⑨ 坂田トヨ子
- おきなわ便り 42 劇団風の子九州沖縄担当 上村 洋
- ここだけの話 59 劇団道化 篠崎 省吾
- 『私の教育小史 綴り方の中の子ども ⑩』
時代が人間を育てる～女子教育について ②～ 井田美恵子

下段記事

- 健やかに生きよう ② by なおこ □ かんなの漫画「ちょっとポレポレ」 67
- 藤岡忠浩先生の実験・工作 66 □ Kaori先生の『子どもと一緒に楽しい本を』 ⑩
- サークルと私 八女生活指導研究会の仲間と私 ④ 下川友博
- 新米区長、地域を駆ける ④ 阿世賀寛行
- 筑豊集会へ 実行委員長古賀克則 □ 生研全国大会・筑豊集会参加呼びかけ 谷口誠二

福岡県民間教育研究団体連絡協議会（福岡民教連）

福岡の民間教育

サークル通信 432号

2015年9月5日 発行



ザリガニと遊んだ（2年絵 大牟田 坂田指導）

実践記録

- 人生のテーマはあえて言えばこう
子どもとともに詩人になろう ⑧ 田村 楠
- 大ちゃん先生の物語
田舎つべ大将の四方山話 ⑥ 五島憲次
- 毎日せんせいのワーホリな日常 ⑦ 西腹 狸里古
- 特別支援学級・生活綴り方の試み
〜再びの教子さん ②〜 茂山 隆介

特別寄稿

- あなたの胸の琴線を静かに強く強く打つ詩がある 耳を澄ませば ⑩ 坂田トヨ子
- おきなわ便り 43 劇団風の子九州沖縄担当 上村洋
- ここだけの話 60 劇団道化 篠崎 省吾
- 『私の教育小史 綴り方の中の子ども⑩』
時代が人間を育てる〜女子教育について③〜 井田美恵子
- ★ 子どもと音楽と 教育の仕事 40年をふりかえって ⑬ 最終回 松尾喜美子

下段記事

- 穏やかに生きよう 21 by なおこ
- かんなの漫画「ちよっとボレボレ」 68
- 藤岡忠浩先生の実験・工作 67
- Kaori先生の『子どもと一緒に楽しい本を』 20
- ★ サークルと私 八女生活指導研究会の仲間と私 ⑥ 下川友博（上段に掲載）
- 筑豊集會特集 古賀克則 中川研治 瓜生浩志
- 生研全国大会開会挨拶 楠凡之

福岡県民間教育研究団体連絡協議会（福岡民教連）

福岡の民間教育

サークル通信 433号

2015年10月6日 発行



大蛇山の絵（大牟田 2年生絵 坂田美穂先生指導）

特集『戦争法』は許さない！

平和を願うすべての人々のちからで「戦争法」を廃止に！

- 平和を願いつづけた母とともに 荒巻久美子
- 平和をぶつと続けよう！ 笠原美代
- 蟬たちと戦争法案 本田文吉

実践記録

- 人生のテーマはあえて言えばこう 子どもとともに詩人になろう ④ 田村 繪
- 大ちゃん先生の物語 田舎っぺ大将の四方山話 ①⑦ 五島憲次
- 特別支援学級・生活綴り方の試み ～再びの教子さん ③～ 茂山 隆介

特別寄稿

- あなたの胸の琴線を静かに激しく強く打つ詩がある 耳を澄ませば ⑩ 坂田トヨ子
- おきなわ便り 44 劇団風の子九州沖縄担当 上村洋
- ここだけの話 61 劇団道化 篠崎 省吾
- 「私の教育小史 綴り方の中の子ども④」～学級通信「風」のころ～ 井田美恵子

下段記事

- 健やかに生きよう 22by なおこ □ かんなの漫画「ちょっとポレポレ」 69
- 藤岡志浩先生の実験・工作 68 □ Kaori先生の『子どもと一緒に楽しい本を』 21
- ★「ファシスト政権」と言うしかない！西崎隼先生からメール
- 新米区長、地域を駆ける ⑤ 阿世賀寛行
- ★北九民研『おとなと子どもの楽しいひろば』案内 □サークル秋の研究会（集会）案内
- 民教研筑豊集會参加者の感想 □生研全国大会を終えて 北口徹一

福岡県民間教育研究団体連絡協議会（福岡民教連）

福岡の民間教育

サークル通信 434号

2015年11月6日 発行



ぼくもチャレンジしてみた『あやとり』 那珂川町 五年生画

実践記録

- 大ちゃん先生の物語
田舎つべ大将の四方山話 ⑮ 五島憲次
- 人生のテーマはあえて言えばこう
子どもとともに詩人になろう ⑮ 田村 柚
- 毎日せんせいのワーホリな日常 ⑮ 西腹 狸里古
- 特別支援学級・生活綴り方の試み
〜再びの教子さん④〜 茂山 隆介

特別寄稿

- あなたの胸の琴線を静かに激しく強く打つ時がある 耳を澄ませば ⑮ 坂田トヨ子
- おきなわ便り 45 劇団風の子九州沖縄担当 上村 洋
- ここだけの話 62 劇団道化 篠崎 省吾
- 『私の教育小史 綴り方の中の子ども③』
学級通信『風』のころ 井田美恵子

下段記事

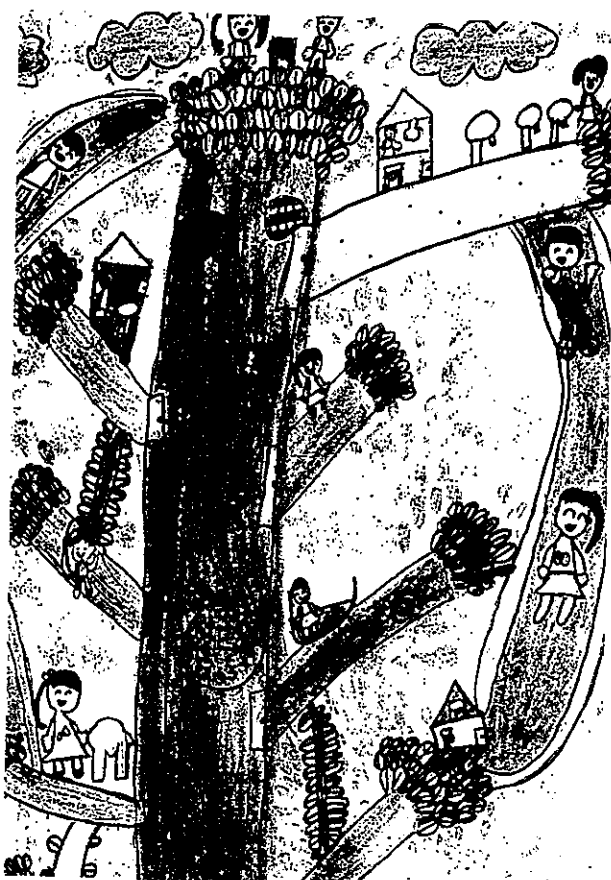
- 健やかに生きよう 23by なおこ
- かんなの漫画「ちょっとボレボレ」 70
- 藤岡忠浩先生の実験・工作 69 □ Kaori先生の『子どもと一緒に楽しい本を』 22
- サークルと私 八女生活指導研究会の仲間と私 ④ 下川友博
- ★北九民研「子どもとおとなの楽しいひろば」参加者の感想
- ★2015年総会議案 「私は見た！考えた！」

福岡県民間教育研究団体連絡協議会（福岡民教連）

福岡の民間教育

サークル通信 435号

2015年12月5日 発行



楽しいわたしのおおきな木（筑紫地区 3年生絵）

実践記録

- 人生のテーマはあえて言えばこう
子どもとともに詩人になろう ⑥ 田村 祐
- 特別支援学級・生活難り方の試み
「再びの敦子さん」⑤ 茂山 隆介
- 大ちゃん先生の物語
田舎っぺ大将の四方山話 ⑩ 五島憲次
- 毎日せんせいのワーホリな日常 ⑩ 西腹 狸里古

特別寄稿

- あなたの胸の琴線を静かに激しく強く打つ詩がある 耳を澄ませば ⑩ 坂田トヨ子
- おきなわ便り 46 劇団風の子九州沖縄担当 上村洋
- ここだけの話 63 劇団道化 篠崎 省吾
- 『私の教育小史 綴り方の中の子ども』⑩
学級通信『風』のころ② 井田美恵子

★地域からの緊急レポート・発信 『水害の常総市から』染谷修司

下段記事

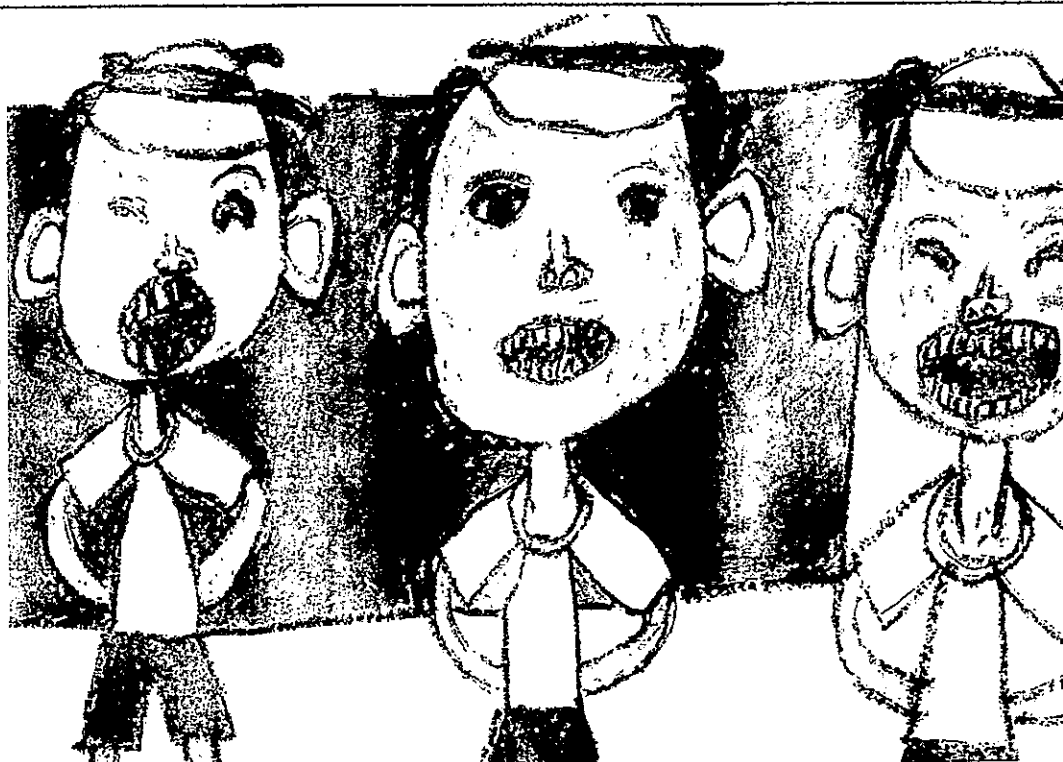
- 穏やかに生きよう 24by なおこ
- かんなの漫画「ちょっとボレボレ」 71
- 藤岡忠浩先生の実験・工作 70
- Kaori先生の『子どもと一緒に楽しい本を』 23
- 秋のサークル・ルポ（作文の会・県生研・県歴教協・教教協）
- 阿世賀区長 地域を駆ける⑥
- ★2015年総会議案 「私は見た！考えた！」

福岡県民間教育研究団体連絡協議会（福岡民教連）

福岡の民間教育

サークル通信 436号

2016年1月5日 発行



おれたち3人ぐみ げんきだぞ! (那珂川町 小1年生男児 絵)

特別寄稿

- 大ちゃん先生の物語 田舎っぺ大将の四方山話 20 五島憲次
- 人生のテーマはあえて言えばこう 子どもとともに詩人になろう 7 田村 楠
- 毎日せんせいのワーホリな日常 20 西腹 裡里古
- 特別支援学級・生活綴り方の試み～再びの教子さん 7～ 茂山 隆介

特別寄稿

- あなたの胸の琴線を詩かに優しく強く打つ詩がある 耳を澄ませば 14 坂田トヨ子
- おきなわ便り 47 劇団風の子九州沖縄担当 上村洋
- ここだけの話 64 劇団道化 篠崎 省吾
- 『私の教育小史 綴り方の中の子ども』学級通信『風』のころ 3 井田美恵子

★地域・読者からの緊急レポート・発信 「水害の常総市から」 染谷修司
沖縄辺野古からの詩 中正男

下段記事

- 健やかに生きよう 25by なおこ
- かんなの漫画「ちょっとボレボレ」 72
- 藤岡忠浩先生の実験・工作 71
- Kaori先生の『子どもと一緒に楽しい本を』 24
- ★年頭所感 民教連事務局（野村・北口・後藤）
- ★九民研宮崎集会ルポ（上）
- ★阿世賀区長 地域を駆ける 惜しまれつつ今号最終回!

福岡県民間教育研究団体連絡協議会（福岡民教連）

福岡の民間教育

サークル通信 437号

2016年2月5日 発行



ぼくが「わあーなんてでかいへどなんだ!」とかいってゆみやをうったところ (1年生 筑紫 原野指導)

特集

学校の今を考える 『学力テストが生み出した狂騒と異常 (上)』

特別寄稿

- 大ちゃん先生の物語 田舎っぺ大将の四方山話 21 五島憲次
- 人生のテーマはあえて言えばこう 子どもとともに詩人になろう 8 田村 楠
- 毎日せんせいのワーホリな日常 21 西腹 狸里古

特別寄稿

- ★今号から短期連載 ベスタロッチ (1) 笠原美代
- あなたの胸の琴線を静かに激しく強く打つ詩がある 耳を澄ませば 14 坂田トヨ子
- おきなわ便り 47 劇団風の子九州沖縄担当 上村洋
- ここだけの話 64 劇団道化 篠崎 省吾

下段記事

- 健やかに生きよう 26 by なおこ
- かななの漫画「ちょっとボレボレ」 73
- 藤岡忠浩先生の実験・工作 72
- Kaori先生の『子どもと一緒に楽しい本を』 25
- ★年頭所感 サークル事務局長 (斎藤・川上・中村・楳本)
- ★九民研宮崎集会ルポ④ (中)
- ★ぐっちゃんのサークル・ルポ (福岡音楽教育の会)
- ★西南大 山崎先生最終講義

福岡県民間教育研究団体連絡協議会（福岡民教連）

福岡の民間教育

サークル通信 438号

2015年3月6日 発行



雑巾を絞る私（筑紫地区6年版画）

特集

学校の今を考える 『学力テストが生み出した狂騒と異常（中）』

特別寄稿

- 大ちゃん先生の物語 田舎っぺ大将の四方山話 22 五島憲次
- 人生のテーマはあえて言えばこう 子どもとともに詩人になろう 9 田村 楠
- 毎日せんせいのワーホリな日常 22 西腹 狸里古

特別寄稿

- ★短期連載 ベスタロッツ（2） 笠原美代
- あなたの胸の琴線を静かに激しく強く打つ詩がある 耳を澄ませば 15 坂田トヨ子
- おきなわ便り 48 劇団風の子九州沖縄担当 上村洋
- ここだけの話 65 劇団道化 篠崎 省吾

下段記事

- ★原風景を描き続けた轟さんの『ぼう！っとコーヒータイム』好評のうちに最終話！
- 健やかに生きよう 27by なおこ かなの漫画「ちょっとボレボレ」 74
- 藤岡忠浩先生の実験・工作 73 Kaori先生の『子どもと一緒に楽しい本を』 26
- ★九民研宮崎集会ルポ（5） ★ぐっちゃんのサークル・ルポ（県生研・歴教教・作文の会）
- ☆集まろう！**PenlパーTeacher!**

今号からスタート

第63回民教研北九州集会ニュース&掲示板



住民と自治 4

2015. APR.

JUMIN TO JICHI MONTHLY

特集

被災地から見えてくる自治体の課題

真の復興と自治体の役割～阪神・淡路大震災から20年、東日本大震災から4年～ 室崎益輝

住民本位の住宅再建と復興まちづくりをめざして～「創造的復興」に抗して/宮城県内の動きから～ 阿部重憲

被災自治体における医療の現状と課題～岩手で実現したこと、これからのこと～ 中野るみ子

災害と要援護者(障がい者)への支援活動と課題 株木孝尚

安倍政権の「農協改革」の狙いと背景 神田健策

韓国・鎮安郡における村づくり運動の展開 具 滋仁/元 鉉注——保母武彦

「大阪都」構想住民投票と橋下大阪市政の暴挙 梶 哲教

使いたくなる！財政分析パワーアップ講座

第3回：合併自治体の財政分析 初村尤而/福山健氏

目からうろこ!?実は知らない自治体実務 生活保護④ 田川英信

おんなのRun③ サステイナ野菜市は地域のお茶の間 郡司千代子

@NEWS 福岡サウンドデモ裁判～表現の自由をめぐる～ いのうえしんぢ



編集 自治体問題研究所

774567



住民と自治

5

2015. MAY.

JUMIN TO JICHI MONTHLY

特集

もっと議員力、議会力を！

代表としての議会の意義を考えるー「大阪都構想」の政治過程からー 柏原 誠

議員力を向上させ、町長と切磋琢磨する議会へー「学ぶ議会」と「自由討議」が推進力ー 寺島 渉

全女性地方議員アンケートの結果と議員力、議会力 平野恵美子

始まっている憲法による地方議会改革「議会白書」を手がかりにして考える 池上洋通

沖縄。島ぐるみの取り組みから 新たな暮らしづくりへ 加藤彰彦

シリーズ 戦後70年と憲法I

憲法と「地方自治の本旨」ー戦後史の教訓ー 宮本憲一

大阪都問題をめぐる広範な運動と住民自治 梅田章二

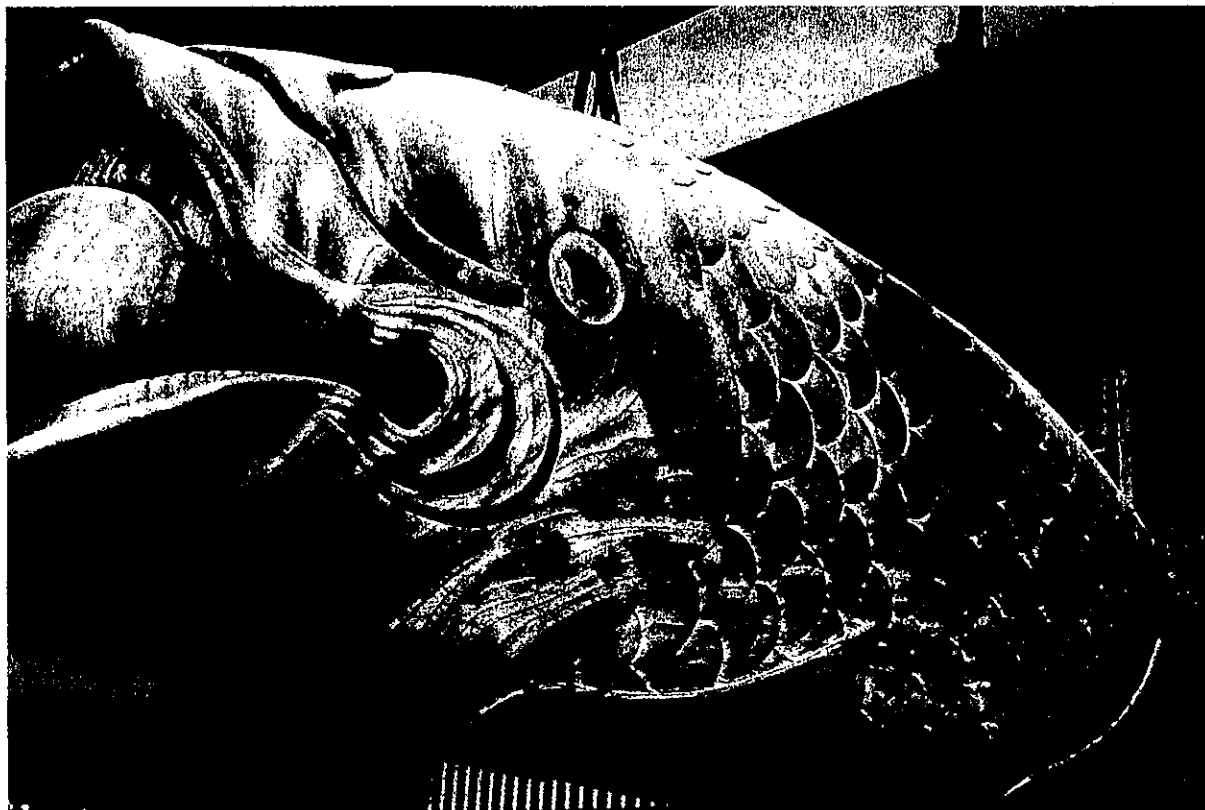
使いたくなる！財政分析パワーアップ講座

第4回：下水道事業会計の分析 中島正博

目からうろこ!?実は知らない自治体実務 生活保護⑤ 田川英信

おんなのRun③魅力ある介護職をめざして～いきいき定年まで働こう～ 東海林亮子

◎NEWS 北海道西興部村 エゾシカとともに生きる村づくり 高畑秀美



編集 自治体問題研究所



住民と自治 6

2015. JUN.

JUMIN TO JICHI MONTHLY

特集

どうなる公共施設再編・再配置

自治の分岐点—公共施設の再編問題 森 裕之
長澤成次/小畑 一/福島 富/福井大和/西村秀一

シリーズ 戦後70年と憲法II

36年の外科医生活から見た国民皆保険制度崩壊の深層 本田 宏

議員になったあなたへ 宮下和裕

使いたくなる! 財政分析パワーアップ講座

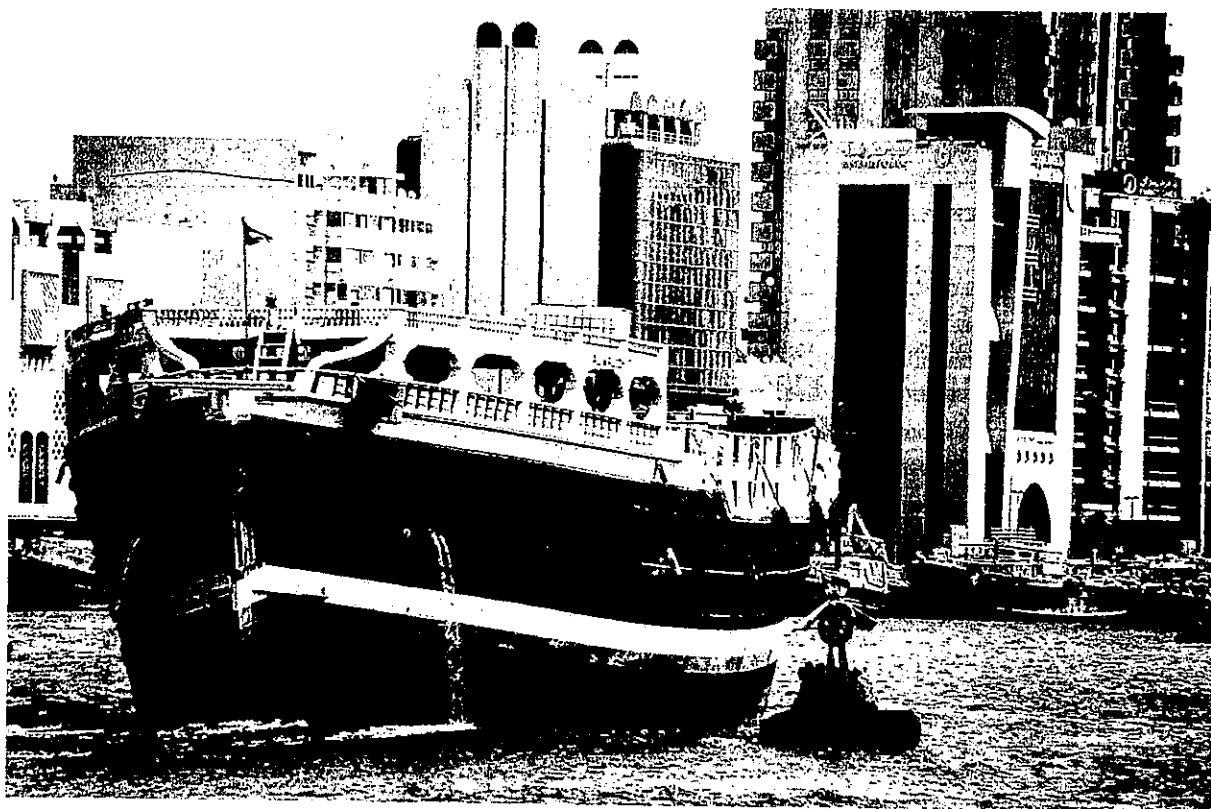
第5回: 国保の都道府県単位化と財政分析 長友薫輝

目からうろこ!? 実は知らない自治体実務 生活保護⑥ 田川英信

おんなのRun②「有事の際に助け合える自治会」をめざして 浦川陽子

②NEWS 参院予算委員会で「八紘一宇」発言 税田啓一郎

第57回 自治体学校 in 金沢からのお知らせ



編集 自治体問題研究所

2015年7月1日発行(毎月1日)通巻627号/昭和38年10月10日第3種郵便物許可

21世紀を地方自治の時代に

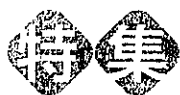


住民と自治

7

2015. JUL.

JUMIN TO JICHI MONTHLY



I 東京、一極集中「東京問題」

東京への人口一極集中とその未来図 江崎雄治
永山利和/山田真吾/藤田孝典



II ようこそ！ 第57回自治体学校in金沢

永山孝一/藪下 宏/齋藤直子/西村 茂

シリーズ 戦後70年と憲法Ⅲ

「かすかな光」を見失っちゃいけない 大田 堯

「賢い迷い」が都市と民主政治を守った大阪「都構想」住民投票 加茂利男

新連載 まことのメガネ ①貧困を防ぐしくみ 中嶋信

使いたくなる！財政分析パワーアップ講座 第6回：自治体病院の財政分析 田岡康秀

おんなのRun@ アルバイト以外何もできない 藤川里恵

@NEWS 戸籍事務の民間委託 歯止めをかける事務連絡 尾林芳匡



編集 自治体問題研究所



住民と自治

8

2015. AUG.

JUMIN TO JICHI MONTHLY



シリーズ 戦後70年と憲法IV
貧困大国アメリカに追随したら「経済徴兵制」が
 ——知らな過ぎる国民皆保険体制
堤 未果×芝田英昭

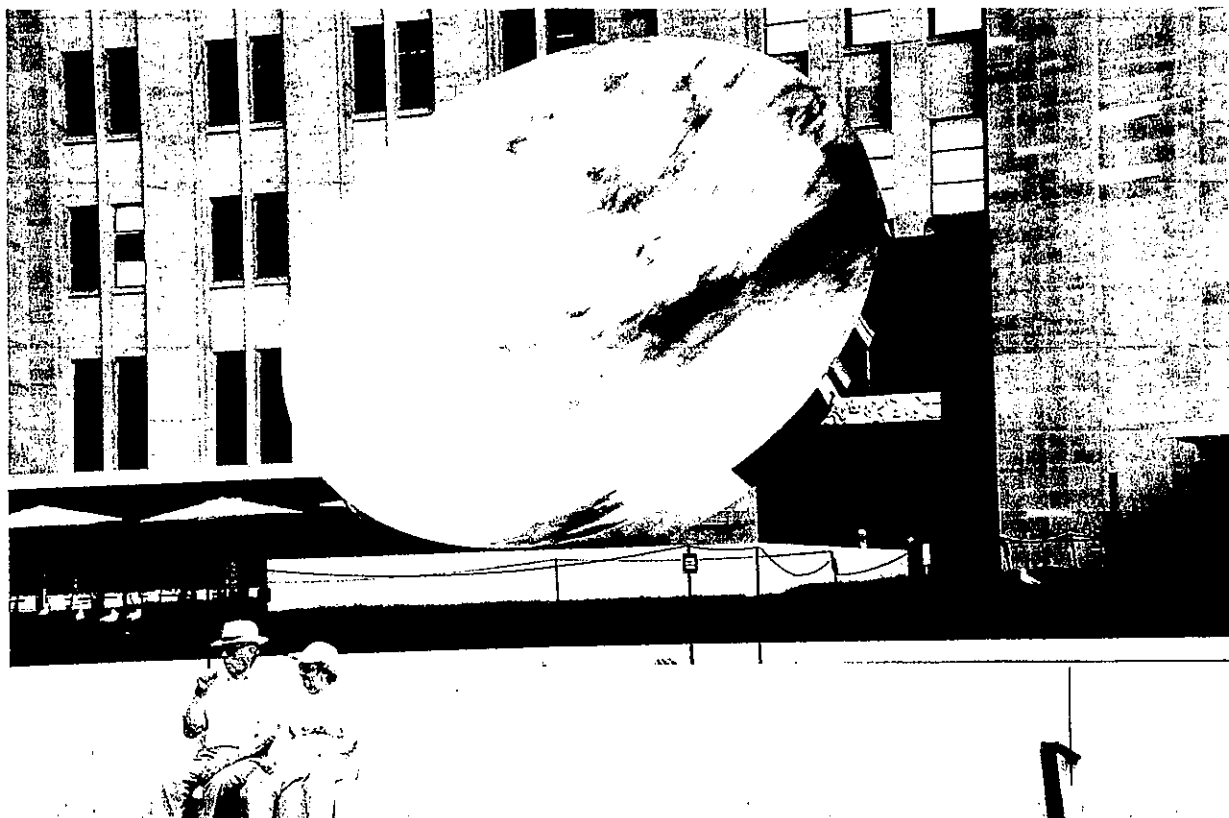


自然エネルギーで再生する地域

自然エネルギーの利活用と雇用、地域づくり
 ——エネルギー供給者としての自治体の役割—— 大友詔雄
 「永続地帯」の提案——自治体の取り組みの現状と課題 倉阪秀史
 長野県:傘木宏夫/群馬県上野村:神田強平/岐阜県石徹白:平野彰秀/山口県祝島:山戸 孝

自治体問題研究所第55回総会報告

まことのメガネ ◎「地方創生」の罫 中嶋 信
 使いたくなる! 財政分析パワーアップ講座 第7回:復興と被災自治体財政 正木満之/平岡和久
 おんなのRun◎ “奇跡の海~上関”を未来の子どもたちへ 高島美登里
 ◎NEWS どうなる? どうする? ミシシippアカミミガメ! 多田哲子





住民と自治 9

2015. SEP.

JUMIN TO JICHI MONTHLY

特集

自治体が生きる、わたしたちの「地方創生」

国は人口政策を間違っ**て**はいけない 神野直彦

「地方創生」に地方自治体はどう対処するか 保母武彦

「地方創生」と「農政改革」は地域の再生につながるか 田代洋一

島根県海士町:山内道雄/北海道下川町:谷 一之

シリーズ 戦後70年と憲法V

いま、なぜ沖縄戦を語るのか —沖縄に憲法と自治を— 大田昌秀

大阪都構想後の課題 一点共闘から新たな自治体建設へ 中山 徹

—第20回「小さくても輝く自治体フォーラムin柴村」報告 水谷利亮

小規模自治体の地方創生総合戦略づくりに関するアンケート調査結果について 平岡和久/中島正博

まことのメガネ ③われらの図書館 中嶋 信

使いたくなる! 財政分析パワーアップ講座 第8回:公共施設の財政分析 森 裕之

おんなのRun@ 沖縄の70年を生きて 内村千尋

@NEWS 国勢調査員の確保に苦慮! 田村彰彦





住民と自治 10

2015. OCT.

JUMIN TO JICHI MONTHLY

特集Ⅰ やっぱり地域スポーツ —スポーツと施設で活性化する地域—

スポーツの基盤を地域で創る 尾崎正峰

地域プロスポーツと自治体 等々力賢治

日本初の障がい者のスポーツセンター 三上真二

長野県阿智村 岡庭啓眞/園原健志

岩手県宮古市 中村融平

特集Ⅱ 第57回自治体学校in金沢 報告

横山壽一/黒田兼一/白石 孝/道見藤治/松葉 博

自治体学校データファイル

緊急提言 終わらないアスベスト問題 村山武彦

つくば市の総合運動公園計画 住民投票で白紙撤回へ 山本千秋

まことのメガネ ④核を利用する資格 中嶋 信

おんなのRun⑨ 楽しく憲法を学ぼう! 飯田美弥子

⑩NEWS 埼玉県所沢市・育休原則退園に保護者は 光本千枝



編集

自治体問題研究所



住民と自治 11

2015. NOV.

JUMIN TO JICHI MONTHLY



子ども・子育て支援新制度スタート 問われる課題

座談会 市町村は保育責務を 日常の取り組みから保育運動を拓く
浅井春夫/和泉明子/仲 葉子/高橋光幸

子ども・子育て支援新制度スタート

一見えてきた課題と国および自治体への提案一 藤井伸生

世田谷区の子ども・子育て支援 増え続ける需要と保育の質・向上の確保 保坂展人

破綻した自治体の企業誘致策

一大阪・堺市での住民訴訟の取り組みを通じて考える一 松永健治

原発再稼働? どうする放射性廃棄物 一新規制基準の検証一 市川章人

自治体学校を対象とする

石川県MICE誘致推進事業助成金不交付問題の論点 榊原秀訓

まことのメガネ ⑥もろい日本社会 中嶋 信

おんなのRun⑩ 苦労は半分、笑顔は倍に 奈和良美紀

@NEWS 水道料金の地域間格差・値上げ問題 解決は「民営化」では不可能 千賀裕太郎





住民と自治 12

2015. Dec.

JUMIN TO JICHI MONTHLY

特集

介護保険の新展開と自治体の対応

服部万里子／柴崎祐美／鶴田禎人

福岡県春日市・園木崇嗣／福島県小野町・加藤 友／三重県桑名市・村瀬 博

医療保険制度崩壊を目指す地域医療構想と保険医療2035提言書 芝田英昭

地域医療連携推進法人と社会福祉法人制度の改正の問題 石倉康次

どこを目指す 地方版総合戦略の内実と課題 角田英昭

常総市水害被害は十分な検証が必要 はん濫・決壊十数時間後、千数百人がへり救助はなぜ 大谷國夫

国連演説と埋め立て承認取り消しは差別政策の必然的帰結 川瀬光義

まことのメガネ⑥ 権力行政がはびこる 中嶋 信

おんなのRun⑧ 住民の合意によるまちづくり 長坂紀子

⑨NEWS 国民の利益も主権も否定するTPP協定の調印 批准を認めさせてはならない 岡田知弘





住民と自治 1

2016. JAN.

JUMIN TO JICHI MONTHLY

新年のごあいさつ 自治体問題研究所理事長 岡田知弘
特別インタビュー 第三者委員会 桜井国俊さんに聞く
埋立承認取り消しにみる沖縄の民意と自治の気概—第三者委員会検証結果報告書を受けて—
聞き手 川瀬光義

特集 町内会・自治会と自治体の関係を考える

町内会・自治会の特質と現代的課題 中田 実
名古屋市天白区植田北学区・高野 潤/名古屋市天白区平針南学区・浅井正明/長野県阿智村・大石真紀子
/三重県四日市市・羽間 透
大阪 ◆選挙結果から何を学ぶべきか 中山 徹
追悼文 都市・農村計画の重鎮石田頼房さんを追悼する 宮本憲一
新連載 うちのつえ ①年金 あきらめるのはまだ早い 内山正徳
使いたくなる! 財政分析パワーアップ講座
第9回:健全化判断指標から分析ターゲットを絞る 初村尤而
おんなのRun◎ 自分の居場所から「だれの子どもも、ころさせない」 西郷南海子
◎NEWS 平和のバラを世界に バラ「9条・希望」誕生!! 樋口義博





住民と自治

2

2016. FEB.

JUMIN TO JICHI MONTHLY

新春特別インタビュー

ノーベル賞科学者 益川敏英が語る、いま、なすべきこと

「科学者である前に人間たれ」の言葉を胸に

聞き手 岡田知弘



自治体アウトソーシングの現段階

新たな段階を迎えた自治体アウトソーシング 尾林芳匡

国家戦略特区の危険性 山口真美

指定管理者移行に伴う分限免職の動向—2つの裁判例からの検討— 小部正治

愛知県小牧市/渡邊育代 東京都足立区/宮下武美

18歳からの地方自治法 連載を始めるにあたって 白藤博行

「遠くの人権」「他人の人権」に無関心にならない地方自治の探究

連載 うちのつえ @年金 遺族年金はだれのもの!? 内山正徳

使いたくなる!財政分析パワーアップ講座 入谷貴夫

第10回:アベノミクスと公共事業政策の財政分析

おんなのRun@ 子どもと大人をつなぐ場をつくる 渡慶次 康子

@NEWS ここまできている 福祉の変質による障害者の権利侵害と虐待 平野方紹

「虐待」施設が虐待通報職員に名誉毀損で損害賠償請求という異常事態の構図



住民と自治

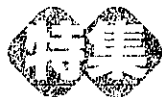
3

2016. MAR.

JUMIN TO JICHI MONTHLY

特別インタビュー 島袋 純 琉球大学教授に聞く
国際世論に訴える「沖縄の声」と未来をひらくカギ

聞き手 川瀬光義



福島 福島過ぎ去らず

5年目の3.11 住民がつくりだす福島の明日 千葉悦子
福島原発事故の賠償と復興をめぐるせめぎあい 除本理史
5年目を迎える福島の現状と生業訴訟 馬奈木徹太郎

日本財政と2016年度予算 関野満夫
2016年度政府予算案と地方財政計画の課題 川瀬憲子

新連載 おいでよ馬路村 上治堂司

うちのつえ ③年金 制度の周知と職員の気付き 内山正徳

おんなのRun④ 学ぶことに年齢は関係ない 思ったその時が始まり 遠藤知子

@NEWS 福岡県北九州市 フードバンク、さらに子ども食堂へ始動 井上真吾

18歳からの地方自治法 第1回 歴史のなかで地方自治の憲法保障をみる 白藤博行



支出内訳書の番号 5

調査研究報告書

1 名称	会派（山海会・希来里・内場）合同研修会
2 目的	会派合同で公共交通などの共通する課題の研究と研修
3 実施時期	平成 28 年 1 月 8 日（金）10 時から 17 時まで
4 実施場所	福津市西福間 4-4-1 サンピア福岡 水仙
5 参加者	内場恭子
6 その他	<p>会派（山海会・希来里・内場）の合同による研修会に参加。</p> <p>公共交通のあり方について、西鉄宗像 村上氏により路線バスの現状についての説明と古賀市の西鉄バスの状況やグランドパス 65 の活用、無料キャンペーンの効果についての検討を行った。</p> <p>学校教育の現状とその課題についての説明を受け、意見交換を行った。</p> <p>古賀市議会の課題、改革点や各委員会での取り組みなどについての現状の把握と課題についての意見交換を行った。</p> <p>政策推進会議へ共同で、古賀市の公共交通を改善する方法を提案するために、今後、意見を整理し、集約する会議を行うことを計画した。</p> <p>資料添付 5</p>

合同学習会プログラム

- 1 10:00 開会(10:00)
- 2 10:05～10:30 議会運営委員会報告
- 3 10:35～12:00 公共交通のあり方
 ゲストティーチャー 村上さん(西鉄宗像)
 ・路線バスの現状 ・グランドパス65、無料キャンペーンの結果
 ・今後の構想
- 4 12:00～13:30 昼食休憩
- 5 13:30～14:40 学校教育の諸課題
 ゲストティーチャー 大隈先生
 ・フッ素塗布問題 ・教職員定数
- 6 15:00～17:00 古賀市議会の今年の課題
 ・政策推進会議の取り組み
 ・議会報告会の取り組み
 ・常任委員会の所管事務調査と次年度提言
 ・申し合わせ事項の追加
 ・費用弁償のあり方
 ・その他

議会運営会の協議のまとめ(1月6日)

- ①議会閉会中の所管事務調査結果報告に、行政視察があった場合は必ず盛り込むことを確認した。
- ②大綱質疑に対する第一答弁は部長が行うのが慣例であるという意見があったがそのような慣例はない。(定例会後の議長、市長協議の中で市長から言われたとのこと)市長が最初から答弁する場合もある。ケースバイケースであることを共通認識とした。
- ③請願について、会議規則にあるように「採択か不採択」という結論の出し方しかないことを改めて確認した。「趣旨採択」という結論の出し方は古賀市議会ではとっていないことを共通認識とした。
- ④請願については、請願者と紹介議員の十分な打ち合わせ、紹介議員を引き受ける場合は慎重に検討すること、請願者の意見を聴取する時間をあらかじめ確保することなどを様々な教訓があったことを共通認識とした。
- ⑤年明けに説明するという西鉄宮地岳線跡地の整備計画(案)について、執行部は市民建産委員会に報告してから市民に説明するとのこと。しかし、委員会は2月上旬であるので、議会への報告のために市民への説明が遅れるようなことがあれば良くない。1月21日の議員連絡会の日に整備計画(案)が整っていればその日に報告を求めるよう議長から執行部に相談してもらうことを議長に要請した。

今後の議会運営に対する要望や課題

- ①インターネット議会中継・録画をスマホやiPadでも見られるよう改善すること。
2016年度で必ず実現するよう市長に求めること。
- ②第2回議会研修会については、健康づくり・介護予防をテーマとすることを提案する。
- ③会議規則の改正の成立を受け、申し合わせ事項の追加について1月21日に開催される会派代表者会議で合意できるよう各会派で議論をお願いしたい。
- ④各常任委員会での所管事務調査の結果を踏まえた次年度への提言。
- ⑤議会報告会（参院選時期を避け、11月ころの開催が適当ではないか）
- ⑥若者対策（第3回目となる小中学生の作文発表、市内の高校生との懇談会の企画）
- ⑦パートナーシップ協定（議場での講演会あるいは学生の意見発表）
- ⑧来年度の議会事務局体制の確立
- ⑨視察の積極的受け入れ、他市への発信
- ⑩議会基本条例の検証作業（自由討議のあり方など）

一般質問に関する特記事項

ア) 企業立地促進条例について市長が「好条件を出しすぎるのもいかがか、効果薄いのも作るべきではない。バランスが必要」という見解はうなずける。また、ある開発計画について市長が「すべきではないと申し上げた。県は好意的だというのが否定的と聞いている」と答弁したことは明快であった。庁舎移転について可能性は検討したいと答弁。

イ) 公共交通について、路線バスとお出かけサポートなどの補完手段で一定程度確保できていると答弁したことには疑問を感じた。コミュニティバスは考えていない、デマンドタクシーは2016年度に調査研究すると答弁した。コミバスの定義を中村市長は、「市の経営、中小型、巡回バス」と述べたが正確さに欠ける。小中学生の無料化については次年度以降実現に向けて検討すると答弁。

ウ) バイオマス発電について、食品工業団地周辺、食品残渣、し尿の一部、将来的には家庭生ゴミと答弁。4～5年かかるとのスケジュール。5名の知見者による検討協議会が設置され、11月6日に第1回が開催。年度末に方向性が出されることが明らかになった。

オ) 古賀市の子どもの貧困率について13.44%という試算が答弁された。

カ) 教育長が、「福津にはイオンがある、新宮にはイケアがある、古賀には学習室がある」ということを答弁で触れた。

キ) 投票時間の繰り上げについて総務課長は、「投票者が少ない、従事者の負担軽減、費用の削減効果」という3点をあげた。18歳投票権が始まる時に、投票時間を2時間短縮するという判断は時代の流れに逆行。有権者本位ではなく、選挙事務従事者本意であると批判されてもやむを得ない。見直す可能性について「やるべきという声があれば可能性ある」と答弁した。

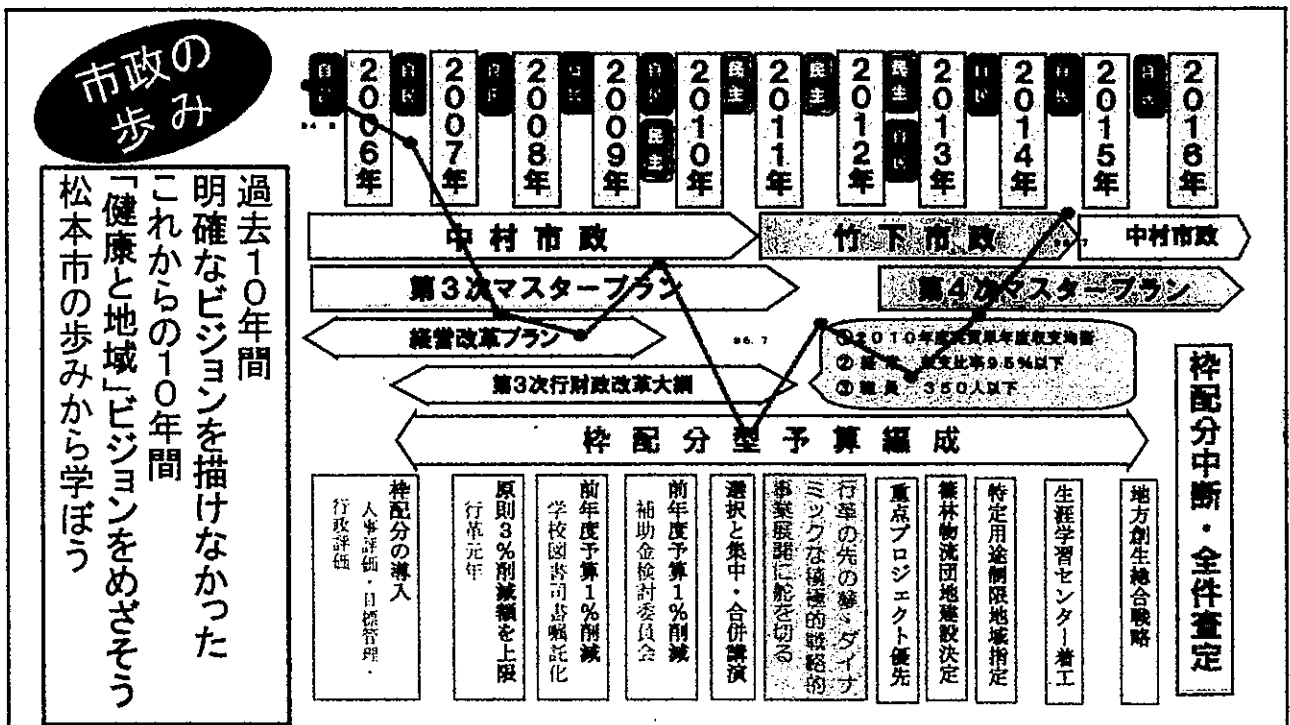
ク) 宮地岳線跡地の整備計画(案)について年明けに市民、議会に提示したいと答弁した。議会閉会中の所管事務調査を待たず、1月に全協を開き報告を受けるべき。

ケ) 水道料金3割値下げの公約を修正・見直したらどうかという質問に、市長は「大きな構造を変えることも考えられる。全くダメとは考えていない。時間がかかる」と答弁。

コ) 大根川の整備について県に要望中との答弁。議会閉会后、職員有志が河川敷の草木の一部伐採を行った。

サ) 政治倫理条例の改正論議があったが、市長が言うように議会が主導権を取るべきではないか。議運で検討するのも一つの手法であると思う。論点整理の問題提起を期待したい。

シ) 保健師の産休代替は常勤の任期付保健師で対応するとの答弁。12月24日に保健師8人の採用など募集要項が公表。申込締切は1月20日、試験日は2月7日。



支出内訳書の番号 6	
調査研究報告書	
1 名称	バスを考える会 平成 27 年度政策推進會会派（山海會・希来里・内場）合同研究会
2 目的	平成 27 年度政策推進會へ會派合同で公共交通に関する意見の提出のための研修とまとめ
3 実施時期	平成 28 年 1 月 15 日（金）、1 月 22 日（金）、1 月 30 日（土）、2 月 9 日（火）
4 実施場所	古賀市社会福祉センター こすもす、ゆり
5 参加者	内場恭子
6 その他	<p>平成 27 年度政策推進會へ、會派（山海會・希来里・内場）合同で、古賀市の公共交通を改善する方法を提案するために、現在の西鉄バスの問題点を市民の要望にあわせて改良する方法を検討した。</p> <p>西鉄バスの運行の利点と市民のニーズ、今後必要とされるバスの運行や時間、便数などを考慮し、現行の西鉄バスを活用する方法を、會派合同で 4 回の會議を経て、まとめた。</p> <p>特に、回送便のロスをなくすための拠点を作ることや朝夕の通勤・通学への対応、昼間の高齡者などの通院、買物、公共施設への交通の便を確保、各地域のバスの乗り継ぎ・連携などを考慮する点として今度の検討点をまとめ、政策推進會に提案した。</p> <p>資料添付 6</p>

構想の概要

まちづくりと一体で持続可能な地域公共交通網の再構築

12/52 提出

提出代表者 村松謙二、 提出副代表者 伊東洋子

会派・山海会 古賀誠視、伊東洋子 会派・希来里 奴間健司、村松謙二 無会派・内場恭子

■運営主体：準公設民間委託方式

(古賀市の基本構想に基づく、市と民間事業者との協働)

目指すべき考え方として

- ①安全管理体制を最優先する。
- ②最大限、既存資源を活用し新たに大きな経費を生まないようにする。
- ③極力、公共交通の空白地帯をつくらない。

■運行形態：基幹路線と補完路線の組合せにより、乗り継ぎや他交通機関との接続を容易にし、道路の現状に合わせた小回りが利く車両を活用する。

■路線：4つの循環系統の路線を設ける。

系統の基本として

- ①回送のロスが少なくなるよう、それぞれの系統に拠点（発着場所）を設ける。
- ②医療機関、商業施設、金融機関、行政（公共）施設などを通るルート。
- ③JR、国道、高速バスとの乗り換えを可能にする。
- ④地域の実情（世代別、曜日・時間帯）に即した便数運行を基本にする。
- ⑤乗り継ぎが容易になる系統間の運行ダイヤを設ける。

■料金：基本路線は現状を維持し、補完路線及び乗り継ぎ料金は一定の負担とする。

■財源：

赤字補填方式の考え方から公共福祉を維持する（移動権）必要経費の考え方へ発想を転換する。公共交通への公的資金投入は政策実現のための投資と考えるべき、つまり「走る公共施設」

- 1、古賀市の補助金は限度を設け、運行事業者の経営の努力が反映される制度にする。
- 2、利用効果が期待される沿線の企業、施設に賛助金を求める。
- 3、市民・事業者から運行の維持と運営のために費用を公募する。

■タイムスケジュール：

- 2016年2月 会派・議員の構想案の募集
法整備の内容、支援策について研修
- 2016年3月 会派・議員の構想案の検討
- 2016年4月 会派・議員の構想案の検討
- 2016年5月 学識者を招聘し課題について研修
- 2016年6月 会派・議員の構想案の検討、現状の現地調査を行う
- 2016年7月 政策推進会議による議会構想案のまとめ

2016年8月 市民への公表と意見を募集し、市民意見を踏まえた議会構想案のまとめ

2016年9月～11月を目処に執行部への政策提言

2017年3月 施政方針、予算への反映。あわせて公共交通基本条例（仮称）の検討

■その他

- 1、バスが入れない地域で運行の支障となっている課題を見つけ、まちづくりの視点で改善を図る。
- 2、前項1のような課題があり、現状では運行が難しい路線には、運行可能な小型バスも検討する。
- 3、高齢化社会を見据え、市民・運行事業者・沿線事業者・行政が公共交通の維持運営を図るため、運営協議機関を設ける。
- 4、協議機関は年に複数回開催し、運営状況、課題、改善策などを検討し、勧告公表する。
- 5、運行にあたっては試験運行期間を設け、その結果により改善や本格運行の可否を判断する。
- 6、本格運行においても運行状況の収支、利用状況を公表し改善や運行の可否を判断する。

■検討課題

- ①「公共交通基本条例」（仮称）の検討
- ②将来構想として系統的に拠点を設ける
 - ・JR古賀駅東口前
 - ・JR千鳥駅東口前
 - ・玄望園及びJH古賀サービスエリア・スマートインターの活用
 - ・道路整備とセットの構想では久保テニスコート～レックス・中央～古賀団地を通るルート
- ③九州産業大学による調査報告書と西鉄バスOD調査のデータ資料を基に分析を行い、問題を発見し課題解決を図る
- ④事業者（バス・タクシー）との協議
- ⑤住民の協力
- ⑥具体的で可能な限り数値化した目標設定

以上

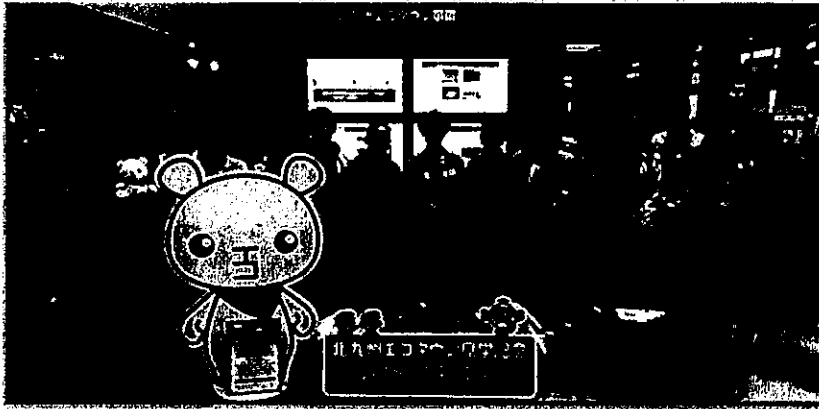
支出内訳書の番号7

調査研究報告書

1 名称	福岡女性議員ネットワーク研修会
2 目的	「食品ロス私達の暮らし」「生活困窮者自立支援について」の研修
3 実施時期	平成28年2月2日(火)10時から16時まで
4 実施場所	福岡県議会 2階 会議室
5 参加者	内場恭子
6 その他	<p>「食品ロス私達の暮らし」について、特定非営利活動法人 フードバンク北九州ライフアゲイン 理事長 原田昌樹(はらだまさき)氏による研修に参加。</p> <p>子どもの貧困を解決する一助としてのフードバンク活動の状況と今後の課題などを、北九州市と周辺、福岡市での活動例を紹介しつつ、社会環境の整備を貧困家庭支援や子育て支援、子どもの貧困予防などとともに日々の食生活を見直し、「もったいない」との感謝の気持ちからフードバンクへとつなげる。</p> <p>子ども食堂や朝弁、学習支援などの子どもを「食と生活」で支える必要性を再確認した。</p> <p>「生活困窮者自立支援について」について、NPO法人 抱撲(ほうぼく)理事長 奥田知志(ともし)氏による研修に参加。</p> <p>北九州市や福岡市を中心に、炊き出しやパトロール、自立支援住宅の運営、サポートなどをボランティアで支援する活動を実施している状況の報告と、その課題と解決への方法を共に考えて、行政の協力などを研修した。 資料添付7</p>

福岡県女性議員ネットワーク研修報告

11月13日 in 北九州



～女性の目線で共に考える～

今回は「環境問題」や「青少年の居場所づくり」に積極的な取り組みを行っている北九州市を視察。超党派の女性同士、わきあいあいと意見交換すると共に、真剣に現状の課題に向き合いました。日頃の活動のヒントも沢山得ることができました！

～意外と知らない「世界の北九州」～

外国からの視察も頻繁にあるというエネルギー開発拠点北九州。洋上風力発電をはじめ、火力・太陽光発電の技術を活かし、今や世界をリードする都市へと進化しています。他にもペットボトルや家電のリサイクルにより100%に近い数字で再資源化・再商品化するなど、環境問題に真正面から立ち向かう現場を視察してきました。



～若者自身が主役のステージ～

北九州市立ユースステーションは、放課後や休日に気軽に立ち寄れる「新たな居場所」。無料学習スペースはもちろん、バンド演奏やお料理まで幅広く若者を応援しています。今後は悩みを抱えた若者の支援にも力をいれていく方向です。誰もが自分の住む地域にもあればいいと思ったこの施設。実際見ることで、非常に参考になりました。

今回の視察では、広く一般の方にも呼び掛けて、多くの方にご参加いただきました。今後も有意義なものとなるように企画して参りますので、引き続き女性議員ネットワークを宜しくお願い致します。会員募集中です！

包摂型世帯支援の必要
子どもの貧困=家庭の貧困
(親)
家庭おこし支援

ほうほく
NPO法人 抱樸 事業等一覧
(旧 北九州ホームレス支援機構)

困窮者支援

支援三十の件

◆組織について

- ・正会員数：174人 賛助会員数：378人 職員数：90人 (パート含)
- ・ボランティア登録 200人
- ・活動地域 福岡県北九州市、山口県下関市、福岡県福岡市
- ・理事会
 - 理事長/代表 奥田 知志 (日本バプテスト連盟東八幡キリスト教会牧師)
 - 副理事長 谷本 仰 (日本バプテスト連盟南小倉バプテスト教会牧師)
 - 専務理事 森松 長生
 - 理事 稲月 正 (北九州市立大学教授)
 - 理事 守谷 栄二 (カトリック正義と平和協議会福岡教区事務局長)
 - 理事 吉田 光慶
 - 理事 仰木 節夫
 - 監事 原田 幸清

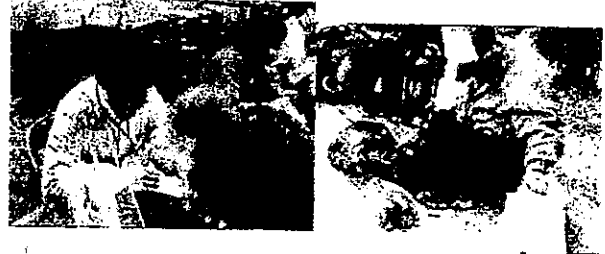
・3つの使命

ひとりの路上死も出さない
ひとりでも多く、一日でも早く、路上からの脱出を
ホームレスを生まない社会を創造する
心身を出さばい大人。うけとめばい社会

自殺の最多は9月1日。
長期の休みの後
子どもが助けてと言え
社会の創造

◆事業実績

自立者総数：2,582人
自立率：93% (基本6ヶ月の自立サポート実施)
現サポート対象者数：1,671人
自立継続率：93.3%



◆各事業の紹介.....

【ボランティア事業部】

① ボランティア支部およびボランティア事務局の設置

北九州、下関、福岡にボランティア支部を設置。専従スタッフによるボランティア事務局を設置しボランティア活動を後方支援。

② 炊出し事業 (自殺防止対策事業)

野宿者等に対する衣食支援。かぜ薬や胃薬配布、医師による健康相談等も実施。
夏期隔週実施 冬期毎週実施 出食数：年間3,000食

北九州市
自立支援 9800万円
生保で1億円

③ パトロール事業

炊き出し後、ボランティアによるパトロールを実施。7コースに分かれて巡回。

④ 自立支援住宅事業

北九州抱樸館内に居室を確保。ボランティア2~3名が担当者となり、伴走的に支援を実施している。6か月の入居後、地域生活へ移行。

⑤ 広報事業

ボランティアによる会報の発行 (年二回各4,000部発行)。HPの管理等を実施。

⑥ サポート事業

自立者へのサポートとして入院見舞いボランティア、誕生カード作り、居場所提供「なごみカフェ」運営など



三無 (食無・宿無・仕事無)

4+障がい(4割) 多重債務(6割) 家族色縁断絶者 自立後 虐待 虐待経験 貧困の世代連鎖

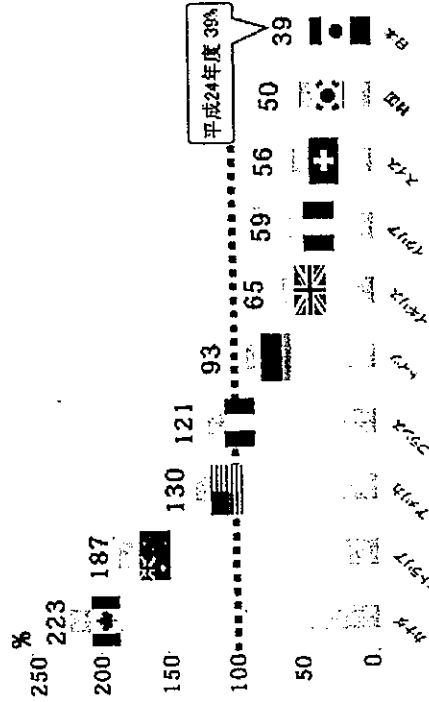
子どもの貧困と フードバンク活動



特定非営利活動法人
フードバンク北九州ライフアゲイン
理事長 原田昌樹
おだまさ

世界の国々の自給率(カロリーベース、平成21年)

世界の国々の供給熱量総合食料自給率 比較(カロリーベース、平成21年、ただし日本は平成24年度)



(資料) 農林水産省「食料自給率」FAO「Food Balance Sheets」等を基に農林水産省で計算した。(7)カロリーベースは含まない。
 なお、スイスについてはスイス農林省「農業年次報告書」、韓国については韓国農林部「食料自給率」による。
 (注1) 数値は、平成21年(ただし、日本は平成24年度)
 (注2) 7カ国以外の自給率は、当該国の報告による。数値については、輸入割合を考慮している。

飢餓が原因で命を落とす世界の子どもたちは、
5秒に……1人、
1分間に……約12人、
1日……19,000人、
1年……690万人



5000万トンの輸入

国際飢餓連盟資料

日本が一年間に廃棄している食糧

1788万トン



農林水産省

世界の食糧
振出
4005万

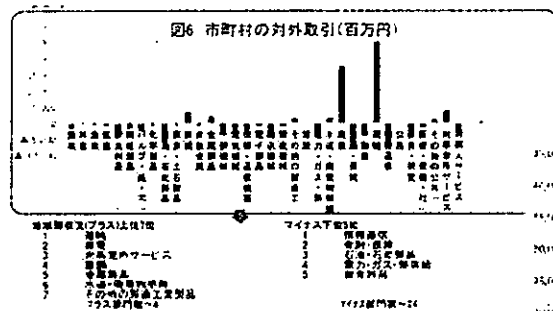
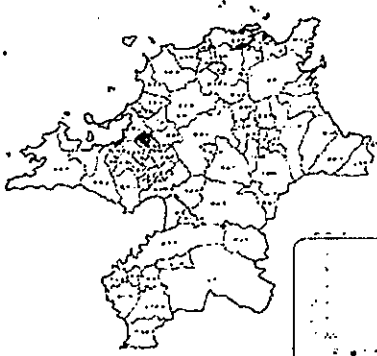
日本の食品ロス500~800万トン
年間コメ収穫量に匹敵

食品ロスの内訳
500~800万トン

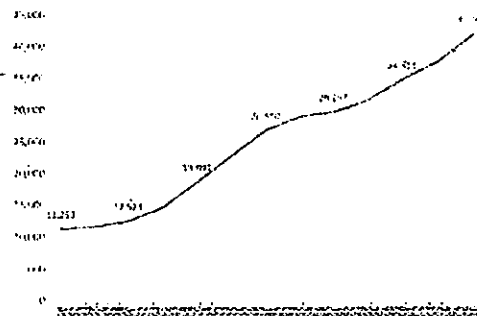
家庭 200~400万t
企業 300~400万t

わがまちの経済

～産業連関表で見える地域
(福岡県60市町村表試案)



人口推移...



付属CD-ROM収録 市町村データ集
(EXCELデータ)

- ・福岡県産業連関表(2005年表)による
県内市町村産業連関表試案
- ・地域際収支表(106部門)等、地域経済に関する分析
- ・市町村の現在区域での国勢調査データ遡及組替え
1950～2010年

2015年9月

編集発行

公益社団法人福岡県自治体問題研究所



生活困窮者への 伴走型支援

経済的困窮と社会的孤立に対応する
トータルサポート

奥田知志+稲月 正+垣田裕介+堤 圭史郎

明石書店

支出内訳書の番号 1・8

調査研究報告書

1 名称	「こが民報」と「こんにちはうちば恭子です」の発行と配布。
2 目的	内場恭子の議会活動や行政や議会の動きを、市民に知らせる。
3 実施時期	平成27年6月～平成28年3月
4 実施場所	古賀市内
5 参加者	内場恭子
6 その他	<ul style="list-style-type: none">・ 「こが民報」の発行と配布。 8月号 15000枚・ 「こが民報」の発行と配布。 10月号 15000枚・ 「こが民報」の発行と配布。 2016年1月号 10000枚・ 「こんにちはうちば恭子です」の発行と配布。 115号から118号まで4,000枚 <p>資料添付 1, 8</p>

B4表裏面積 1,870.96 $1,870.96 \div (132 + 1 + 102) = 13\%$

こが民報

2016年
1月号

日本共産党古賀市議会議員

内場 恭子 Tel 946-3337

〒811-3124

古賀市薬王寺1835-3

1cm²

132cm²

1人に
約2万7000円
1世帯当たり
約6万2000円
アップ

消費税10%増で 家計負担倍増 (日本共産党小池議員の参院予算委員会質問)

小池晃議員： 消費税を10%増税で軽減税率を導入した場合の家計の負担増は？
麻生財務相： 1世帯当たり6万2000円程度、1人当たり2万7000円程度の増。
小池晃議員： 衆院予算委員会での麻生財務相の答弁(13日)「1世帯3万5000円程度、1人1万4000円程度」の2倍近い。物価上昇を差し引いた労働者の実質賃金は3年間で5%減少、日本経済の6割を占める個人消費の落ち込みは危機的状況。こんな時に消費税の増税で個人消費を冷え込ますことは問題と指摘しました。
日本共産党は、貧困と格差を広げる消費税10%増税の中止を求めています。

消費税を10%に増税した場合
(軽減税率導入時)の家計負担は

～市民のくらしを守るためには何が必要かが問われた12月議会～

日本共産党 うちば恭子の一般質問

うちば 徴税狙いの
マイナンバーは中止を
市長 拡大利用には必要な措置を講じる

うちば マイナンバー利用の市民のメリット、デメリットは。マイナンバーへの対応はどうか。個人情報を守られるのか。

市長 市民の社会保障や税の手続きが便利になる。個人情報の漏洩・流失を危惧。国と連携して必要な措置をする。

うちば 市民や事業者への説明が不足では。

市長 広報や出前講座などで適切に周知している。

うちば マイナンバー制度の狙いは徴税強化。マイナンバーを利用しなくても市民生活には支障はない。基本的人権の個人情報を守るために中止すべきだ。

再生エネルギーの活用を

うちば 公約のバイオマス発電計画は進んでいるのか。

市長 古賀市の特性を活かしたものを研究していく。

うちば 再生エネルギーを活用してほしい。

使いやすい公共交通を



うちば 古賀市の公共交通のへ見解は。

市長 現状の西鉄バスが基幹路線。お出かけタクシーなどで一定の公共交通は確保している。

うちば 高齢化・少子化対策、人口増対策とし、市の公共交通をどう評価するのか。市民要望の把握は。

市長 アンケートなどで把握。地域に出向き、意見交換の場などを確保し、市民ニーズに応える。

うちば 70歳以上へのグランドパス65購入の補助の評価と今後はどうか。

市長 高齢者の外出に一定の寄与。国の交付金は見込めず継続は困難。

うちば 西鉄バスの便が少ない。公共交通機関やバスがないなど困っている人たちへの対応はどうか。

市長 利用者が少ないが、最適のものにしている。補完的なもので対応を。

うちば お出かけタクシーだけでは不十分。研究だけで終わらないように。市民が望む、細やかな公共交通を実現してほしい。

市議会議員 うちば恭子へ
ご意見・ご要望をおよせください。
ホームページ info@jcp-koga.jp

102cm²

2016年の法律相談予定は

1月27日(水) 2月24日(水)
3月23日(水) 4月27日(水)
5月25日(水) 6月22日(水)
7月27日(水) 8月24日(水)
9月28日(水) 10月26日(水)
11月はお休み 12月21日(第3水曜)

「しんぶん赤旗」お読みにないませんか
日刊紙 3,497円 日曜版 823円

● マイナンバー実施の 条例制定 問題点

反対

住民票をもつ、約1億2000万人に特定の12桁の番号、個人番号を割り振り、さまざまな個人情報を「マイナンバー」番号によって管理・活用しようというもの。

マイナンバーは、1月から税申告や社会保障の手続きに利用するが、市民のメリットはほとんどない。

税と保険料の徴収を強化し、給付削減を推し進め、社会保障に係る国の財政負担及び大企業の税、保険料の負担を軽減することが狙いの国の都合による導入だ。

国は、個人情報などは安全に守られるというが、個人情報漏えいの危険性や不安が指摘されて安心できない。年金機構125万件の個人情報漏えいや、通信教育大手企業の顧客情報漏えいなども起きている。情報は集まれば集まるほど、利用価値が高まり攻撃されやすくなり、危険だ。

生涯変わらない一つの番号で、さまざまな個人情報を行政が管理すれば、情報漏えいの危険性が高まることは避けられない。

古賀市でも、市民への説明が不足しており、マイナンバー相談窓口には多くの質問や相談があっている。高齢者や障害者への対策も不十分なままに、個人番号(マイナンバー)制度を、来年1月、あと2週間ほどで実施しようとすることは問題だ。以上のことから反対。

● 名称は「交流館」

生涯学習センターの使い方や使用料を決定

市民の願いは、利用しやすい生涯学習センター。約17億円もの費用をつかい整備しているが、完成後の施設使用料は、高額になる。

現在の研修棟の時間貸し 1時間 300円

交流館の使用料 1時間 500円
茶室・工芸室・調理室 " 600円
冷暖房費は別になる予定

うちば 使用料の値上げは、目的の市民の生涯に渡る学習活動を総合的に支援することにはならない。利用する人(受益者)は利用料の負担をしてほしいというが、生涯学習センターの建設費は税金であり、すでに市民は税金という形で費用を払っている。近隣市町の同等施設では時間100円もある。

減免団体の見なおしやキャンセル等の規則なども市民の要望にあったものとしていくべきだが不足している。利用しやすい生涯学習センターにならないことから反対。



● タバコ税があがります

市税条例の一部を改正で、旧3級品のタバコ、わかばや、エコー、しんせい、ゴールデンバットなどの愛飲者には高齢者も多く、たばこ税の特例税率廃止での増税は問題。

減免のためとはいえ、個人番号(マイナンバー)の活用をすすめるもので、個人情報漏えいの危険性や不安はぬぐいきれない状況での利用は問題と反対。

◇ 花見小学校横に 公園用地を取得

賛成

花見小学校の雑木林などを古賀市が買い取り、公園に整備する計画です。公園などが少ない花見東区の市民からは、期待されています。

面積 5546.17㎡
 価格約1億8000万円

◇ 薬王寺の汚水処理場の工法変更

農業排水事業の汚水処理場建設が進んでいる。ボーリングの結果、非常に硬い岩盤があるため、建設の工法を硬い岩盤に対応できるものに変更。費用も約4200万円増加。

工期は平成28年1月から3月に延長するが、稼働時期は変わらず。周辺住民の安全などへの配慮と説明を求めた。

◇ 企業誘致を推進する条例

産業振興と雇用の拡大を進め、古賀市の経済を発展させ、市民の生活を向上させるために、市が企業を支援をする。

・平成26年の4月1日までさかのぼり支援
 常時雇用の従業員が5人以上。投下固定資産総額が2億円以上。製造業や情報管理サービス業、卸売業、道路貨物運送業、倉庫業などの指定がある。

支援策

- ① 固定資産税の減免 事業を開始するための土地や建設・増築した建物などの課税する固定資産税を3年分免除する。
- ② 雇用奨励金の交付 新しく正規雇用した古賀市在住の従業員に1人に12万円を、本社機能を設置すれば1人に24万円を交付。
- ③ 本社等立地交付金 本社機能設置をした事業者へ、正規雇用の従業員の引っ越しなどに必要な費用と本社機能設置の事務経費や本社登記の費用相当額を交付。

- 生涯に渡るスポーツライフを実現させるための多目的グラウンドの新設の請願市には、屋外スポーツ施設(学校を含む)は、ソフトボール23面、野球2面あり、体育協会など多くの方が協議し利用しているが、まだ利用可能。サッカーなど様々なスポーツに利用できる多目的グラウンドの建設に反対ではないが、新設ともなれば、適切な場所や広さ、スポーツの種類など検討すべきことは多く、費用もかかる事業で、財政面の検討計画的な対応も必要。体育協会やスポーツ関係団体との協議が不十分。十分な審議が必要なことから反対。
 賛成13 対 反対3 退席2で採択されました。

B4表裏面積 1,870.96 - 1,870.96 ÷ (124.5 + 1 + 20 + 294) = 93%

124.5

732cm²

こが民報

2015年
8月号

日本共産党古賀市議会議員

内場 恭子 TEL 946-3337

〒811-3124

古賀市薬王寺1835-3



連日多くの参加者で賑わう JR 古賀駅前
8月3日からの5日間連続宣伝行動で

(2.5 × 9.5 = 18.75
29.5 × 4.5 = 105.75)

平和憲法9条に反する「戦争立法」は廃案に

戦後70年の今こそ、日本国憲法の平和的・民主的原則を守りぬく、大切な時です。戦争法案は、アメリカの戦争と一体化するもので、集団的自衛権の行使は、憲法違反であることは明白です。日に日に高まる国民の反対の声を押しつぶし、国会での徹底審議を求める野党の声にも耳を貸さず、戦争法案を、与党の自民・公明だけで強行採決。衆院での数の力でこの法案を押し通したことに一片の道理もありません。

憲法も国民の民意も踏みつけにする戦争法案です。

憲法の平和原則も国民主権も踏みつける法案は、参議院で廃案しかありません。

～ 戦争をしない国づくりを求めた6月議会 ～

国民的の合意のないまま安全保障法制の制定を行わないことを求める意見書

賛成8：反対10で 否決

提出者：田中英輔 提出賛成者：阿部友子；村松謙二；内場 恭子

戦後70年。今国会で審議されている平和安全法整備法案は、集団的自衛権の行使を可能にするため等の法案を一括したもので、戦争放棄、戦力の不保持を定めた憲法に違反し、我が国の基本政策を転換し、戦争を放棄した平和国家日本のあり方を根本から変えるもの。

国民はこの法制定に疑問と不安を持っている。国民的合意のないままの法制定を行わないことを求めるものです。

反対討論では、抑止力を高め戦争を未然に防ぐ事が目的で法整備は必要。自衛隊出動は新三要件に合致した時のみ。誤解と曲解に基づく意見書は反対。

賛成討論では、平和を守ることが大切。集団的自衛権の行使は日本国憲法9条に違反する。国民が納得できる十分な審議は当然のことから意見書提出に賛成等に討論がありました。

採決の結果、賛成少数で否決されました。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
氏名	阿部友子	伊東洋子	高原伸二	平木尚子	奴間健司	岩井秀一	田中英輔	福崎智之	古賀誠視	森本義征	松島岩太	吉住長敏	井之上豊	内場恭子	姉川さつき	渡孝二	村松謙二	清原哲史	結城弘明
賛否	○	○	×	×	○	×	○	×	○	×	×	○	×	○	×	×	○	×	—

(—は議長のため採決には参加しません)

日本共産党 うちば恭子の

一般質問

憲法9条を破壊する 戦争立法をどう考える

うちば 憲法改正への考えは。審議中の戦争立法をどう考えるのか。自衛隊員の生命の危険もあるが。

市長 憲法・国防議論は地方議会にそぐわない。自衛隊の責務は国防のため命をかけることが責務だ。

うちば 公務員の仕事は、憲法を守ることだ。

水道料金・学校エアコン設置・子育て支援なども質問、
詳細は裏面に掲載しています。ご覧ください。

西鉄バスでは行き届かないところへ、 細やかな運行のバスが必要

うちば 70歳以上の方への西鉄バスのグランドパス購入補助の効果は。市民が利用しやすい公共交通が必要だが。グランドパス補助の延長はどうか。

市長 検証はもう少し状況を見てから。利用しやすい公共交通は西鉄と協議しながら、公共交通活性化委員会の意見を参考に研究する。補助の延長は費用対効果をみて。

うちば 西鉄バスやお出かけタクシーでは足りない。西鉄バスを補完するコミュニティバスが必要。早急な対応を求める。

「しんぶん赤旗」お読みになりますか

日刊紙 3,497円

日曜版 823円

20cm

福岡県内の市では

高い方から11位

うちば 選挙公約の水道料金引き下げは任期中のいつ。古賀市の水道料金は高いのか。

市長 検討に時間がかかる。いまは答えられない。県内では高くない。

うちば 福岡県内の市では高い方から11位。市町村合わせて高い方から24位。決してやすくはない。今後福北導水の利用などで、早く引き下げをしてほしい。災害時の自前の地下水の確保なども重要だ。

教室の温度や環境の調査を早く

うちば 保護者からの要望もある小・中学校全教室へのエアコンの設置が必要だがどうか。

教育長 学習環境への配慮は必要。中学校図書館にはエアコン設置済。今年は全小学校に扇風機設置完了する。

うちば PM2.5や大気汚染物質から子どもを守るには扇風機では不足。エアコン設置のために気温など環境把握する調査をすべきだ。

教育長 把握をしたい。

ひとり親家庭等への子育て支援の強化を

うちば 子どもの医療費の拡充や保育料等の負担軽減、ひとり親家庭への支援が必要だがどうか。

市長 子育て世帯の負担軽減は必要だ。少子化対策のために、理想的には全額の国費負担が望ましい。

今年も暑かったね。
教室へのエアコン
設置を早くして！
熱中症が心配だよ。



市議会議員 うちば恭子へ
ご意見・ご要望をおよせください。
ホームページ info@jcp-koga.jp

みんなの声

私の戦争体験

いつも、いつも空襲におびえていた戦争は、私が9歳の時に終わりました。

夜、灯が外にもれないよう、布で覆い、防空頭巾は枕元において寝ていました。近所の若者が出征する時には「軍歌」を歌って、「日の丸」の小旗をふって、駅まで送りました。食べ物がなくとも「戦争に勝つまでは」と子供心にガマンしていました。

小学2年に肋膜炎になり、安静に寝ていなければならない時に、空いっぱいB29が爆弾をつんで、飛んできました。恐ろしかった。その時、わたしの街は爆撃されませんでした。半年後に福岡大空襲があり、沢山の人がなくなりました。

戦争が終わり、平和憲法ができ、高校の授業で徹底的に教わりました。「ずーっと守り通すように」と。ところが70年過ぎた位で、平和憲法を壊そうという政権ができて「にせ」の平和安全保障の名で法案を通そうとしています。多くの学者が違憲と言っているのに...

私も、年老いて身体が思うように動かすづらい思いですが、反対の声を上げて頑張らねばと思っています。多くの市民や学者、若者たちが立ち上げているのがとても心強く思います。戦争法案は絶対に廃案にしたいです！

中央 S



$$23.5 \times 12.5 = 293.75 \\ = 294$$

戦争法案の廃案を！

$$297 \text{ cm}^2 \\ 294$$

自公政権は戦争法案を7月16日、国民の6割の反対と8割にのぼる「政府説明は不足だ」との意見を無視し、衆議院本会議で強行採決した。審議の舞台は参議院に移った。

戦争法案は90%以上の憲法学者や法制局長官経験者などの見解のように憲法違反である。6月4日の衆議院憲法審査委員会に出席した自民党推薦を含む3名の憲法学者はそろって「憲法違反である」と証言した。

安倍政権は、昨年7月の閣議で、「国の存立を全うし、国民を守るための切れ目のない安全保障体制の整備」を決め、これまで歴代政権が維持してきた憲法解釈を180度転換し「集団的自衛権」の行使をめざしてきた。

政府は集団的自衛権行使にあたり、砂川最高裁判決と1972年の政府見解「集団的自衛権と憲法問題」を理由づけとしたが、国会審議でことごとく論破され、今残っているのは「安全保障環境の根本的変容」だけである。「中国の威圧的な海洋進出」や「朝鮮半島の緊張」などを理由に集団的自衛権を持ち出している。

安倍政権の狙いは、第1にイラクであれ、アフガンであれ、米軍が世界中で引き起こした戦争に自衛隊が戦闘地域まで行って「後方支援」をするということ。

第2に「停戦合意」がなされていても戦闘行為が続いている地域に自衛隊を派遣して武器を使うこと。第3に日本がどこからも攻撃を受けていないのに集団的自衛権を発動してアメリカと一緒に海外で戦争することなどである。

「殺し、殺される」戦争法案に反対する声は高まるばかりだ。衆議院の審議が高まるにつれ国会周辺は緊迫する状況が生まれた。「戦争をさせない。9条壊すな！総がかり行動実行委員会」の国会行動が連日行われた。同じく、「シールズ 自由と民主主義のための学生緊急行動」も連日行動した。「子供や孫を戦争に行かせない」という女性の参加も積極的だ。「安全保障関連法案に反対する学者の会」アピールに学者・研究者1万1218人、市民2万2779人が参加した。中央・地方の弁護士連合会の参加も面期的だ。

安倍内閣の支持率が急激に低下している。7月19日、不支持51%。支持35%。(毎日新聞)他の新聞、放送局も同じ傾向にある。支持と不支持の大逆転である。

古賀市議会では賛成8、反対10で法案反対は否決されたが運動をもっと強めよう。

憲法9条を蹂躪する最悪の戦争法案を廃案に。(M)

B4表面積 1,870.96 $1,870.96 \div (1 + 130.25 + 20 + 299) = 24\%$

日本共産党古賀市議会議員

内場 恭子 TEL 946-3337

〒811-3124

古賀市薬王寺1835-3



国会正門前 戦争法廃止反対の声 (しんぶん赤旗より)

こが民報

2015年
10月号

130.25 ~~132~~ cm²

立憲主義、民主主義を取り戻そう

日本共産党は、「戦争法廃止の国民連合政府」を提案しています。

1. 戦争法(安保法制)廃止、安倍政権打倒のたたかいをさらに発展させよう。
2. 戦争法廃止で一致する政党・団体・個人が共同して「国民連合政府」をつくろう。
3. 「戦争法廃止の国民連合政府」で一致する野党が、国政選挙で選挙協力を行おう。すでに「提案」は、大きな反響を呼んでいます。「野党は協力を」という声が、一つの流れとなりつつあります。これを文字通りの国民的な流れにしていくことが、この「提案」を実現する最大のカギです。

日本共産党は、そのためにあらゆる努力を続けたいと決意しています。(10月15日 志位和夫委員長の日本外国特派員協会での講演より)

$23.5 \times 4.5 = 105.75$

$7 \times 3.5 = 24.5$

130.25

～「まち・ひと・しごと総合戦略」の活用が問われた9月議会～

日本共産党 うちば恭子の一般質問

うちば 子どもと女性への支援の環境整備を

市長 地方創生戦略の目的は出生率の向上

うちば 若者の移住や子育て世帯などの人口増を目指し、少子化対策や子育て支援、2040年の目標出生率2.07へ引き上げにどう取り組むのか。

市長 待機児童ゼロや子育て世代の保護者支援などを実施で、まち・ひと・しごと創生総合戦略で安心の出生、子育ての環境づくりに取り組む。地方創生戦略の目的は出生率向上。古賀市の出生率は1.52。全国平均1.42を上回っている。

保護者の希望は、病児保育と経済的な負担軽減をしてほしいとのこと。

総務部長 若者や女性、子育て世代に古賀市に住んでほしい。土地区画整理事業等や子育て、教育等施策で、2040年には6万人規模の人口を維持していく。

うちば 出生率向上は、子どもと女性の環境を整備し、支援策の充実で実現できる。女性の賃金格差の解消、経済的な安定、医療の充実、子育ての施設の整備、子育ての負担軽減策など、社会基盤整備が必要だが、その必要性は。

市長 できる限りの対策を打っていく。

うちば 保育料の軽減などの子育て支援を行い、少子化対策、人口増、特に女性の社会進出、男女平等の社会を推進してほしい。

子ども医療費通院費の中学校卒業まで拡大

うちば 「地方創生先行型交付金」を活用し子ども医療費助成拡大や保育料助成をしてはどうか。

子ども医療費通院費を中学校卒業まで助成の拡大してほしいがどうか。

市長 市は県に先行、小学校卒業まで通院費助成を拡大し喜ばれている。

うちば 福岡県は、平成28年度中に小学校卒業まで通院費助成を拡大する予定。県が小学校卒業まで通院費助成を拡大すれば、市の負担は軽減する。その浮いた費用で、中学校卒業まで拡大してほしいがどうか。

市長 子どもの医療費助成は検討課題だ。県の制度拡大で負担が減り、予算は浮くが、その費用を子どもの医療費助成につかうことにはならない。

うちば 保護者の負担軽減や人口増のためにも、少子化対策の子ども通院費助成を中学校卒業まで拡大してほしい。

住宅リフォーム助成制度で人口増を

うちば 地域の経済活性化対策や消費拡大策にはどう取り組むのか。地域活性化策として、「地域消費喚起・生活支援型交付金」を活用した住宅リフォーム助成制度の創設をし、市民支援をしてはどうか。

市長 今後検討したい。

うちば 住宅リフォーム助成制度で、若い世代や女性が住みやすい、子どもを産み育て安心できる市にしてほしい。



市議会議員 うちば恭子へ

ご意見・ご要望をおよせください。

ホームページ info@jcp-koga.jp

20 cm²

「しんぶん赤旗」お読みになりませんか

日刊紙 3,497円

日曜版 823円

平成 26 年度決算認定を審議



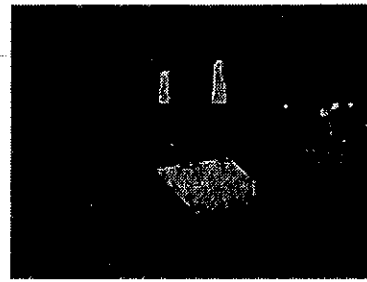
反対

うちば 認定に反対
一般会計・住宅新築資金等貸付・国保・後期高齢者医療・介護保険など

(反対討論の要旨)

- 西鉄バス路線赤字補てん額が 3652 万円に。西鉄バスは企業としての利用者増への努力不足。コミュニティバスの検討ができていない。
- 同和地区活動補助 426 万 3000 円、毎年、団体の決算報告書などへの指導が必要な状況にあり、市民への説明責任が果たせない。
- 保育環境の整備や保育料の軽減や子どもの医療費の助成制度拡大も不足。少人数学級全小・中学校への拡大がない。学力向上のための講師配置やエアコンの設置や教育環境の整備も不足。
- 生ごみの減量、バイオマス化が進まず、リサイクル推進や自然再生エネルギー導入推進も不足。市民のごみ減量の努力が反映されない古賀清掃工場への 8 億円もの負担金。
- 介護保険料の基準月額 4,700 円は高く、負担は大。はり・きゅう券の補助の削減も納得できない。高すぎる医療費負担など、安心の高齢者対策とはいえない。

みんなの声



子どもたちがよく利用する小野公園の休養広場の遊具が壊れて危ない!

うちば 公園を管理する都市計画課へ写真を添えて、破損箇所の修復を申し入れました。

交通量も多く、高齢者や子ども連れにも歩きづらい花見南 2 丁目の道路の凹凸の側溝!
(495 号花見交差点から海へ向かう道路の左側)



うちば 道路を管理する建設課に歩行者の危険な状況と改修の必要性を指摘し、申し入れました。

社会保障・税番号制度導入事業に 147 万円

社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)導入のためのソフトの借り上げや通知カード郵送の準備の経費

うちば 市民からの質問に十分に対応できない状況だ。窓口での対応はできるのか。制度導入のための市民への説明は十分か。説明の責任はどこか。

執行部 出前講座 7 回、約 193 人に説明している。市民への周知は国の仕事で、市はそれを補完する。混乱のないように、窓口や総合案内の職員に研修を行いたい。

うちば 市民への説明も職員研修も遅れている。国のやり方が問題だ。情報漏えいの対策や安全性の確保を十分にやるべきだ。

うちば 反対討論

マイナンバー制度は、住民票をもつ全員に 12 桁の番号をつけ、国が管理し、税や社会保障の手続きなどで使用する仕組み。

国や市は、市民の所得、社会保障給付の状況を効率よく把握できるが、私たち市民には、必要性もなく、支持や理解が広がらない制度です。

日本年金機構の 125 万件もの情報流出のように、個人情報をもとめて収集できるマイナンバー情報が漏れ出せば、悪用され、個人のプライバシーが侵害される危険は飛躍的に大きくなります。公的機関などで万全の対策がつけられている状況とはいえません。

国民の情報漏えいの危険性が大きくなり問題あるマイナンバー制度の導入に反対します。299

23x13=299

294000

国民連合政府で「戦争法」の廃止を!

憲法と法の秩序を全く無視した「戦争法案」が 9 月 19 日の参議院本会議で自民・公明の「数の暴力」で強行採決された。

平和主義をこわし、政治は憲法の枠内で行わなければならない立憲主義を破り、民主主義を否定する暴挙である。

日本共産党は、19 日に戦争法廃止の国民連合政府の実現をめざす三つの呼びかけをおこなった。

1 つは、戦争法廃止、安倍政権打倒のたたかいを発展させよう。

2 つは、戦争法廃止で一致する政党、団体、個人が共同して国民連合政府をつくろう。

3 つは、戦争法廃止の国民連合政府で一致する野党が国政選挙で選挙協力をおこなおう。

来年に迫っている参議院選挙、予想もされる衆議院の解散選挙で勝利し戦争法の廃止を実現しようとするものである。呼びかける共産党の志位委員長は、戦争法案に反対し連日集まった学生を中心としたシールズの人たち、「孫や子どもは、戦争にやらない」と叫ぶママさんたち、12 万人集会で出された多くの声が「戦争法案はやめてほしい、

安倍政権を倒してほしい、野党はバラバラではダメ、一つにまとまってほしいという声に応えるものだ」と強調した。

国民連合政権の提案は民主、社民、生活の党や団体、個人に行われている。「戦争法」成立後も反対運動は強まっている。9 月 20 日には「安全保障関連法案に反対する学者の会」171 人の会見が行われ、10 月 3 日には安倍政権ノーの抗議集会に 2 万人が集まった。圧倒的な憲法学者、元法制局長官、弁護士など「戦争法は違憲だ」と言っている。参議院の中央公聴会で公述人として出席した元最高裁判事の浜田邦夫さんも「違憲です」ときっぱり表明し、「暗黒日本への逆コースを阻止しよう。憲法と法の支配を守るために皆で立ち上がろう」と訴えている。

自民党の高村正彦副総裁は「嵐が過ぎ去って冷静になれば戦争法の必要性はわかっただけ」などと馬鹿げた話をしている。

これからさらに国民連合政府樹立をめざす取り組みがすすむであろう。

(2015 年 10 月 10 日 M)

議会傍聴においでください

6月22日(月)午前10時20分ごろから

うちは 恭子の質問

くらしやすい古賀市への具体化は

子どもを育み、市民生活を守る豊かでくらしやすい古賀市へ、どう進めていくのか。

- 1 水道料金の引き下げはどう進んでいるのか。
上・下水道料金への考えは。
- 2 子どもの医療費の拡充、保育料・学童保育料の軽減、ひとりの親家庭の支援などの子育て支援の拡充を。
- 3 小・中学校全教室へのエアコンの設置実施への取り組み推進が必要。暑さ対策と学習環境の整備を。給食費軽減、少人数学級などへの考えは。
- 4 グラウンドパス65補助の効果と課題は。もっと利用しやすい公共交通が必要と考えるかどうか。
- 5 平和は安心のくらしの基本、平和についての見解は。
市民や子どもたちへの学習、啓発の推進を。

1 岩井 2 内場 3 田中 4 姉川 5 伊東

6月23日(火)午前9時30分から

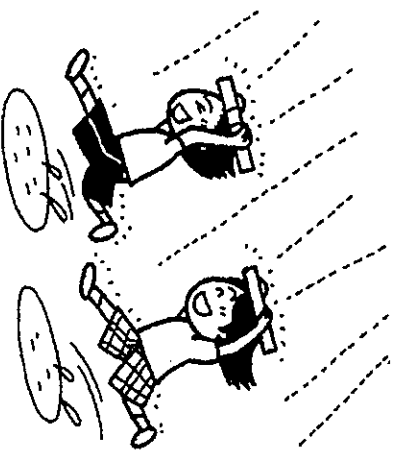
6 高原 7 吉住 8 清原 9 井之上 10 阿部

6月24日(水)午前9時30分から

11 古賀 12 平本 13 村松 14 奴間 計14人

本会議、常任委員会も特別委員会も傍聴できます

☆6月11日	本会議初日	議案の上程
☆6月15日	大綱質疑、委員会付託	
☆6月16日	総務委員会	
☆6月17日	文教厚生委員会	
☆6月18日	市民建産委員会	
☆6月19日	補正予算特別委員会	
☆6月22日～24日	一般質問	
☆6月24日	議会報編集委員会	
☆6月26日	本会議最終日	



本会議・委員会は
9時30分からです。

こんにちば
うちは 恭子です

日本共産党No.115

2015・6・11

薬王寺 1835-3 Tel. 946-3337

うちは 恭子の質問

うちは 憲法9条を破壊する戦争立法をどう考える

市長 憲法・国防議論は地方議会にそぐわない

戦争立法は憲法違反。9条を破壊するもの

うちは 憲法改正への考えは。

市長 憲法、国防問題の議論は地方議会にはそぐわない。自衛隊の責務

は国防のため命をかけることが責務だ。

うちは 地方公務員の仕事は、憲法を守ることだ。

水道料金引き下げは

うちは 選挙公約の水道料金引き下げは任期中のいつか。水道料金は高いのか。

市長 検討に時間がかかる。いまは答えられない。県内では高くはない。

うちは 高い方から24位。福北導水の利用などで、早く引き下げしてほしい。

子どもの医療費通院無料化や負担軽減で子育て支援を

うちは 子どもの医療費の拡充や保育料等の負担軽減、ひとり親家庭の支援が必要かどうか。

市長 子育て世帯の負担軽減は必要。少子化対策のために、理想的に全額国費負担が望ましい。

1日も早く 全教室にエアコンの設置を

うちは 保護者からの要望もあるが、中学校全教室へのエアコンの設置が必要かどうか。

教育長 学習環境への配慮は必要。中学校図書館にはエアコン設置済。

今年は全小学校に扇風機設置完了する。

うちは PM2.5や大気汚染物質から子どもを守るには扇風機では不足。エアコン設置のために気温など環境把握をすべきだ。

教育長 把握をしたい。

利用しやすいコミュニティバスを

うちは 70歳以上の方への西鉄バスのグラントバス購入補助の効果は。市民が利用しやすい公共交通が必要だ。グラントバス補助の延長はどうか。

市長 検証はもう少し状況を見てから。利用しやすい公共交通は西鉄と協議しながら、公共交通活性化委員会の意見を参考に研究する。補助の延長は費用対効果をみて。

うちは 西鉄バスを補完するコミュニティバスが必要。早急な対応を求める。

国民的の合意のないまま安全保障法制の制定を行わないことを求める意見書を提出 賛成8対反対10で、否決

(提出者 田中英輔 賛同者 阿部友子 村松謙二 内堀恭子)

国会で審議中の戦争放棄、戦力の不保持を定めた憲法に違反。国民はこの法制定に疑問と不安を持っている。国民的合意のないままの法制定を行わないことを求める。

意見書提出に 賛成8人

うちは 伊東 田中 阿部 村松 めま 吉住 古賀

反対10人 清原、松島、岩井、井之上、平木、高原、渡、

姉川、福岡、森本



こんにちば
うちは 恭子です

日本共産党No.116

2015・7・2

薬王寺 1835-3 Tel 946-3337

297cm²

戦争法案反対の声を上げよう!

どなたでも参加できます。一緒に
思いを、願いを 届けましょう!

○集会名：戦争法案の廃案を求める五日間連続集会

○日時：8月3日(月)～8月7日(金)の五日間
18:00～19:00

○会場：古賀駅西口横広場

○内容：集会参加者による「戦争法案に対する意見表明」
(リレートーク形式)
(事前情報により集まった方だけでなく、通行途中の方へもトークへの参加を呼びかける)

【集会の留意事項】

- (1) 政党、宗教、団体の違いを超えて、誰もが参加できる意見交流の場とすること。
- (2) 「安保関連法制」賛成の立場の方の意見についても傾聴すること。

お問い合わせ先
事務局：福岡県教職員組合 粕屋支部
FAX 947-5859 TEL 947-5860

国民的の合意のないまま安全保障
法制の制定を行わないことを求め
る意見書を提出

賛成 8 対 反対 10 で 否決

(提出者 田中英輔 賛同者 阿部友子 村松謙二 内
場恭子)

国会で審議中の戦争法案は、集団的自衛権の
行使を可能にするもので、戦争放棄、戦力の不
保持を定めた憲法に違反。国民はこの法制定に
疑問と不安を持っている。国民的合意のないま
まの法制定を行わないことを求める。

意見書提出に 賛成 8 人
うちば 伊東 田中 阿部 村松 めま 吉住
古賀

反対 10 人 清原、松島、岩井、井之上、平木、
高原、渡、姉川、福岡、森本

こんにちは
うちば 恭子です

日本共産党 No.117

2015・8・29 297cm²
薬王寺 1835-3 TEL 946-3337

議会傍聴においでください

9月10日(木)午前10時20分ごろから

うちは 恭子の質問

どう活用する「まち・ひと・しごと総合戦略」

国の「新型交付金」交付額 1千億円とも言われるが、活用するためには、地方自治体が「まち・ひと・しごと総合戦略」を策定すること必須条件です。

市民生活の支援や地域活性化のため、古賀市の政策・施策の財源として活用できるようにすべきで、その取り組みが問われる。

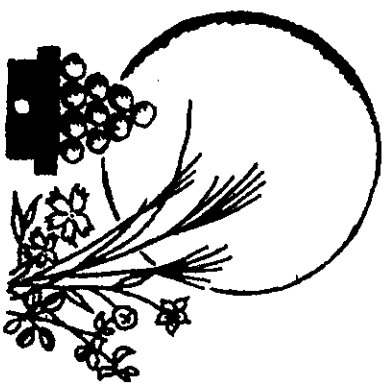
そこで

1. 若者の移住や子育て世帯などの人口増を目指し、少子化対策、子育て支援へどう取り組みのか。
2. 古賀市に適した施策は何か。市民要望の把握はできているのか。「地方創生先行型交付金」を活用しこども医療費助成拡大や保育料助成をしようか。
3. 地域の経済活性化対策や消費拡大策にはどう取り組みむのか。
4. 地域活性化策として、「地域消費喚起・生活支援型交付金」を活用した住宅リフォーム助成制度の創設をしようか。

- | | | | | | |
|-------------------|------|------|------|-------|-------|
| 1 井之上 | 2 内場 | 3 田中 | 4 阿部 | 5 吉住 | |
| 9月11日(金)午前9時30分から | | | | | |
| 6 伊東 | 7 平本 | 8 福崎 | 9 古賀 | 10 村松 | 11 奴間 |
| | | | | | 計 11人 |

本会議、常任委員会も特別委員会も傍聴できます。

☆9月 1日	本会議初日	議案の上程
☆9月 3日	大綱質疑、委員会付託	
☆9月 4日	市民建産委員会	
☆9月 7日	文教厚生委員会	
☆9月 8日	総務委員会	
☆9月 9日	補正予算特別委員会	
☆9月 10・11日	一般質問	
☆9月 15・16・18・24・25日	決算審査特別委員会	
☆9月 28日	議会報編集委員会	
☆9月 30日	本会議最終日	



本会議・委員会は
9時30分からです。

こんにちば
うちは 恭子です

日本共産党No.118

2015.9.1

薬王寺 1835-3 Tel 946-3337

3.5cm

平成27年度6月から平成28年3月政務活動費会計計算表

年月日	収入		支出		残	領収
	項目	金額	項目	金額		
	政務調査費	100,000			100,000	
2015-7-12			福岡女性議員ネットワーク会費	3,000	97,000	1 研修費
2015-7-16			コピー代	2,890	94,110	2 資料作成費
2015-8-2			ファイル、ノート、ボールペン等	1,566	92,544	3 事務費
2015-8-31			用紙代	1,180	91,364	4 事務費
2015-10-4			「こが民報 8月号」用紙代、印刷代 15000枚 39,626円より 23%、9,114円削除 39,626円-9,114円=30,512円	30,512	60,852	5 広報費
			「こが民報10月号」用紙代、印刷代 15000枚 40,026円より 24%、9,607円削減 40,026円-9,607円=30,419円	30,419	30,433	5 広報費
			「こんにちはうちば恭子です」115号 から118号まで用紙代、印刷代 4,000枚 8,994円より 12%、1,079円削減 8,994円-1,079円=7,915円	7,915	22,518	5 広報費
2015-10-6			コピー代	1,730	20,788	6 資料作成費
2015-10-16			本代 わが町の経済	3,000	17,788	7 資料購入費
2015-10-19			議会改革を考える研修会分担金	3,355	14,433	8 調査研究費
2015-10-2			FAX用インク・インク代	3,816	10,617	9 事務費
2015-12-24			福岡民教連「福岡の民間教育」購読料	4,000	6,617	10 資料購入費
2015-12-24			自治体問題研究所「住民と自治」 購読料	12,000	-5,383	11 資料購入費
2016-1-22			コピー代	1,040	-6,423	12 資料作成費
2016-1-30			会派合同研修会	2,230	-8,653	13 調査研究費
2016-2-2			本代 生活困窮者への伴走型支援	3,000	-11,653	14 資料購入費
2016-3-23			バスを考える会 平成27年度政策 推進会会派合同研究会	1,177	-12,830	15 調査研究費
2016-3-23			「こが民報1月号」用紙代、 印刷代 10000枚 26,084円より13%削除 3,391円削減 26,084円-3,391円=22,693円	22,693	-35,523	16 広報費
計		100,000		135,523	-35,523	

領 収 証

内場 恭子 様

No. _____

金額

¥ 88,646 -

但 民衆用紙印刷にて

2015年10月4日 上記正に領収いたしました

収入印紙

内 訳
現金
小切手
手 形
消費税額等(%)

〒811-3111 福岡県古賀市花見南2丁目27-31
 日本共産党宗像・粕屋地区委
 TEL 092-942-61
 FAX 092-942-60

9,607
 (A) $40,026 - (40,026 \times 0.24) = 30,419$
 1,079
 (B) $8,994 - (8,994 \times 0.12) = 7,915$

9114
 $39,626 - (39,626 \times 0.23) = 30,512$

納品書 2015年10月1日 No. _____

納品書 2015年7月/日 No. _____

内場 恭子 様

下記のとおり納品いたしました

品名	数量	単価	税率		金額 (税抜・税込)	消費税額等	摘要
			%	%			
税込合計金額 ¥ 49,000							
(A) 民衆用紙・印刷代							
冊紙 1冊	15,000				23826		
印刷代	15,000	1.0			15000		
ZZZ-	12	100			1200		
(B) 二人用紙・用紙・印刷代							
用紙 A407-	4,000				4194		
印刷代	4,000	0.9			3600		
ZZZ	12	100			1200		
合計							

内場 恭子 様

下記のとおり納品いたしました

品名	数量	単価	税率		金額 (税抜・税込)	消費税額等	摘要
			%	%			
税込合計金額 ¥ 39,626							
民衆用紙・印刷代							
冊紙	15,000				23826		
印刷代	15,000	1.0			15000		
ZZZ-	8	100			800		
合計							

議会改革を考える研修会（10月17日開催）

会計報告

2015年10月19日

奴間健司

<支出>

①講師謝礼 30,000円（領収書コピー）

②会場費 1,200円（領収書コピー）

③印刷費 3,000円（領収書コピー）

計 34,200円

<収入>

④資料代 4,000円（当日、市外の議員からの収入）

<差し引き>

⑤ 30,200円

<分担金>

⑤を9人の議員で分担し、一人3,355円となります。

9人は、姉川さつき、井之上豊、清原哲史、田中英輔、古賀誠視、伊東洋子、村松謙二、内場恭子、奴間健司です。

領 収 証

議会改革を考える研修会

古賀市議会議員有志による実行委員会 様

金 30,000円

但し 講師謝礼として

2015年10月17日

会津若松市東千石1-5-2
田黒章三郎

領 収 証

議会改革を考える研修会

古賀市議会議員有志による実行委員会 様

金 3,000円

但し 資料の印刷代として

50部×3円/ページ×20ページ (A3)

2015年10月17日

ぬま健司後援

古賀市千鳥

電話・FAX

部ビル103

44-2639

様式第1号の2(第6条第1項関係)

古賀市中央公民館研修棟使用許可書兼領収書

(あて先)古賀市教育委員会

申し込み日 2015年 9月 25日

使用団体名 議員・市民研修会 実行委員会 (使用人数 30人) 使用目的 研修会

団体責任者 住所 古賀市 花見東 5-4-10

(ふりがな) 氏名 女子 奴間 健司 (性別 男 · 女)


生年月日 1952年 4月 17日

申し込み手続者 (ふりがな) 氏名 女子 奴間 健司
TEL [REDACTED]

	月・日	曜	使用時間	調整欄	時間数	部屋	調整欄	使用料
①	10月17日	土	13:00-17:00		4	304		1,200
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
⑦								
⑧								
⑨								
⑩								
⑪								
⑫								

※注意事項

- ・領収印及び許可担当者サインのある許可書のみ有効です。
- ・研修棟における営利、布教、政治目的の活動は禁止されています。もしこれらの活動がおこなわれていた場合、許可書を発行した日時であっても、貸し館を禁止いたします。
- ・使用時間を必ず守ってください。表記の時間は準備時間及び片付け時間も含まれます。
- ・申し込み後、市行事、学校行事、社会教育団体行事、分館行事等公的行事が入った場合は速やかにお譲りください。

減免前金額	
合計金額	1,200
領収印	
担当者サイン	<u>[REDACTED]</u> 9/25

会派合同研修会 (山海会・希来里・内場)

会計報告

平成28年1月30日

内場恭子

支出

① 会場費 平成28年1月8日 13,380 領収書コピー 1

② 計 13,380

分担金

②を会派合同研修会会参加 6人の議員で分担し
1人負担 2,230円 となります。

参加の6人は奴間健司、村松謙二、田中英輔、伊東洋子、
古賀誠視、内場恭子です。

領収書

原本伊東議員添付

5-2

No. 000015689



御芳名 (NAME)

〒811-3219 福岡県福岡市南区 4-4-1

TEL. 0940-42-2105 FAX. 0940-42-0167

伊東 洋子

様

nisifukuma 4-4-1 fukuoka Fukuoka Japan

部屋番号 (ROOM NO.)	到着日 (ARRIVAL)	出発日 (DEPARTURE)	料金 (RATE)	人数 (NO. OF GUESTS)
水仙 朝	2016/01/08	2016/01/08		36651

区別 (CLASS)	日付 (DATE)	品名 (DESCRIPTION)	数量 (QTY)	単価 (PRICE)	金額 (AMOUNT)
D	16/01/08	ホワイトボード	1	1,080	1,080
B	16/01/08	水仙の間(午前)	1	5,300	5,300
B	16/01/08	水仙の間(午後)	1	7,000	7,000
		--<ご利用額計>-----			13,380
		--<ご請求額>-----			13,380

28.1.-8

前払金 (PREPAID)	前入金 (ADVANCE)	代金 (AMOUNT)	利用金 (USAGE)	その他 (OTHER)	合計 (TOTAL)
0	0	0	0	0	0

(振込先)



ご利用金額 (TOTAL AMOUNT)	請求額 (TOTAL BALANCE)	御返金額 (REPAYMENT)
13,380	13,380	*****
内消費税額 990		

御署名
SIGNATURE

収入印紙

20160108-164409-1

バスを考える会 平成27年度政策推進會會派合同研究会

會計報告

平成28年3月23日
内場恭子

支出

①	資料収集費	古賀市街地図	3,000円	領収書コピー	1
②	事務消耗品費	透明フィルム	1,077円	領収書コピー	2
③	会場費	平成28年1月15日	780円	領収書コピー	3
		平成28年1月22日	650円	領収書コピー	4
		平成28年1月30日	780円	領収書コピー	5
		平成28年2月9日	780円	領収書コピー	6
⑤	計		7,067円		

分担金

⑤をバスを考える会参加6人の議員で分担し
1人負担 1,177円 となります。

参加の6人は奴間健司、村松謙二、田中英輔、伊東洋子、古賀誠視、内場恭子です。

6 - ①

No 001293

内場 恭子 様 古賀市 地図販売領収書

	種類	単価	枚数	金額	
A	$\frac{1}{2500}$ 白 図	500			
B	$\frac{1}{5000}$ 白 図	500	4	¥	2000
C	$\frac{1}{10000}$ 白 図	500	2	¥	1000
D	$\frac{1}{10000}$ 都市 計画図	1000 800			
E	$\frac{1}{25000}$ 白 図	100			
F	$\frac{1}{35000}$ 白 図	80			
合 計				¥	3000

一金 93000 円

古賀市地図販売代金として
上記の金額を領収しました。



古賀市会計管理者

福岡県古賀市駅東1丁目1番1号
古賀市役所 都市計画課
TEL 092-942-1111



6 - ②

領収証
家庭でつくらないで
Goody
古賀千鳥店 ☎ 092-944-2451

28年01月20日(水)18:51 ｼﾞ5601

領収証
内場 恭子 様

¥1,077-

上記正に領収しました(消費税等
79円を含みます)

5601-3450-9609

透明スルム

28年01月20日(水)18:51 ｼﾞ5601

貴No00560109

内透明断熱フィルムE0590 ¥1,077
合計 ¥1,077
(内税8%税込) ¥1,077 ¥79
(内税8% (内税計) ¥79)

※保管上のお願

財布等で保管載く場合は、印刷面を
内側に折って保管願います。

No. 9610 店No00056

古賀市社会福祉センター利用許可書

平成 28 年 / 月 22 日

住所 古賀市

申請者 氏名

連絡先 (電話)

[Redacted]

内海 恭三

[Redacted]

団体名	バスを考える会		
利用日時	1月22日	9時	分から12時
利用目的	会議		
人員	10人	利用料	650円
利用室名	(室名)ニすもす、大広間、ゲートボールコート		

上記のとおり許可します。平成 28 年 1 月 22 日

※ 使用にあたっては、規則を厳守すること。
 ※ 違反のありうるときは、使用を拒否します。

古賀市社会福祉センター所長

領 収 書 № 000041

バスを考える会 様

一金 650 円也

上記のとおり領収致しました。

平成 28 年 1 月 22 日

古賀市社会福祉センター

福岡県古賀市千鳥三丁目3番地
 TEL・FAX 092-943-2111

[Redacted]

6 - 4

古賀市社会福祉センター利用許可書

平成 28 年 / 月 / 日

住所 古賀市

申請者 氏名

連絡先 (電話)

[Redacted]

内海 恭三

[Redacted]

団体名	バスを考える会		
利用日時	1月15日	13時	00分から16時
利用目的	バス会		
人員	6人	利用料	780円
利用室名	(室名)ニすもす、大広間、ゲートボールコート		

上記のとおり許可します。平成 28 年 1 月 15 日

※ 使用にあたっては、規則を厳守すること。
 ※ 違反のありうるときは、使用を拒否します。

古賀市社会福祉センター所長

領 収 書 № 000005

バスを考える会 様

一金 780 円也

上記のとおり領収致しました。

平成 28 年 1 月 15 日

古賀市社会福祉センター

福岡県古賀市千鳥三丁目3番地
 TEL・FAX 092-943-2111

[Redacted]

6 - 2

古賀市社会福祉センター利用許可書

平成 28 年 2 月 9 日

住所 古賀市

申請者 氏名 伊東 洋子

連絡先 (電話)

団体名	バスを考える会		
利用日時	2月9日 13時00分から 16時30分		
利用目的	会議		
人員	5人	利用料	780円
利用室名	(室名 ⅴ) 、大広間、ゲートボールコート		

上記のとおり許可します。 平成 28 年 2 月 9 日

※使用にあたっては、規則を厳守すること。
※違反のありうるときは、使用を拒否します。

古賀市社会福祉センター所長

領 収 書 No 000050

バスを考える会 様

一金 780 円也

上記のとおり領収致しました。

平成 28 年 2 月 9 日

古賀市社会福祉センター
福岡県古賀市千鳥三丁目3
TEL・FAX 092-943-2

古賀市社会福祉センター利用許可書

平成 28 年 1 月 30 日

住所 古賀市

申請者 氏名 内藤 恭子

連絡先 (電話)

団体名	バスを考える会		
利用日時	1月30日 13時から 17時00分		
利用目的	会議		
人員	8人	利用料	780円
利用室名	(室名 ⅴ) 、大広間、ゲートボールコート		

上記のとおり許可します。 平成 28 年 1 月 30 日

※使用にあたっては、規則を厳守すること。
※違反のありうるときは、使用を拒否します。

古賀市社会福祉センター所長

領 収 書 No 000097

バスを考える会 様

一金 780 円也

上記のとおり領収致しました。

平成 28 年 1 月 30 日

古賀市社会福祉センター
福岡県古賀市千鳥三丁目3
TEL・FAX 092-943-2

6 - 5



株式会社 ヤマダ電機
本部 群馬県高崎市栄町1-1
http://www.yamada-denkiweb.com

〒新宮店
092-941-7731
御来店誠に有り難う御座います
ケイタイd安心会員募集中!

令頁山又

No. 0177-328-249329 [現金売]

2015/10/02 14:00
レジ担当:706556

販売担当:303346

会員No. 7780026260860

3199125011 BC1350XLPGBK2P 351
キャノン 1:持帰 外08 10

¥2,553

1199880015 KXFAN190W SSS
インク 1:持帰 外08 10

¥981

小計 ¥3,534

消費税 ¥3,816

税引 ¥3,816

合計 ¥3,816

(内消費税 ¥282)

現金 ¥3,816

お預り ¥4,000

お釣り ¥184

ポイント会員No. 7780026260860

前回累計ポイント数 594P

今回ポイント数 0P

今回ポイント数 355P

累計ポイント数 949P



B0177328249329B

商品の返品につきましては必ずこのレシートとお客様をお持ち下さい。お持ちでない場合は返品が出来ません。

印紙税申告納付につき消費税清算

★出張修理受付ダイヤル★
0120-22-3833
(9:00~21:00)

◆ YAMADA 買取 ◆

ファッションやゲームなど無料査定
不用なモノが現金やポイントに
詳しくは【ヤマダ買取】で検索!

【お問合せレシート番号】

0177-328-249329

10

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	[REDACTED]			
加入者名	福岡長教連			
金額	千	百	十	円
		4	0	0
ご依頼人	おなまえ 古賀市東寺 内島 恭子			
料金	130	27-12-24 青柳郵便局		
備考	(74142) N94280016			

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

この受領証は、大切に保管してください。

3

払込票兼受領証

口座番号	[REDACTED]			
加入者名	福岡県自治体問題研究所			
金額	千	百	十	円
		1	2	0
払込人住所氏名	古賀市東寺 1-35-3 内島 恭子			
料金	受付局日附印 27-12-24 青柳郵便局			
特殊取扱	(74142) N94280017			

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

4

領 収 証

内場 恭子

様

No. 009

★

73,000

但

2015年度会費

2015年7月12日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

福岡県女性議員ネット

収 入

印 紙

コクヨ ウケ-1097

平成 27 年度

古賀市

納 付 書 兼 領 収 書

811-3124 古賀市薬王寺1835-3

納
付
者

内場 恭子

様

会計 01 一般会計

款 21 項 04 目 04 節 01 細節 01 細々節

金
額

2,890 円

内容 5月分議員コピー使用料

担当課 800000 議会事務局

納期限

発行日 平成 27年 7月 1日

納付場所 左を参照してください。

上記の金額を納期限までに納入してください。

古賀市役所
古賀市長 中村 隆象

取りまとめ店：福岡銀行 古賀支店

上記金額を領収しました。

この領収書は収納場所の領収
印によってその効力を生じます。

領収日付印



(納入者保管)



領 収 証

2015年08月02日 発行

内場 恭子 様

¥1,566-

(消費税 116円を含みます)

但し、上記正に領収いたしました

福岡古賀店
福岡県古賀市天神4丁目3-1

TEL:092-941-9281

※本書保管上のご留意
財布・手帳等にはさんで保管戴く
場合は、印刷面を内側に折り保管
をお願いいたします。

レジ:002 担
レシート番号:002-42204-57758

10

9

内藤 恭子 領 収 証

NO:0290829
2015年08月31日

¥1,180- (全額現金支払)
(入金分消費税等 87円を含む)

但し、お買上レシートNo.002-66516 品代

担 当

お買上店舗
ナフコ古賀店
株式会社ナフコ
本社：福岡県北九州市小倉北区魚町2-6-10

TEL:092-942-6668



お買上明細

10

ホームプラザナフコ 古賀店
2015年08月31日 18:25
担:3062090/

21 カラーコピー用紙 クリーム
22248480 ¥1,180

合計 ¥1,180

お客様カードNo. 2530*****7342
本日ご利用可能ポイント 435P
今回ご利用ポイント 0P
今回お買上ポイント 10P
ポイント有効期限 2016/08/31
※今回加算ポイントは次回お買上時
よりご利用いただけます

*マークは、広告商品です。

ご返品の際は領収証をあわせて、
お持ち下さい。

古賀市


納付書兼領収書			
納 付 者	811-3124 古賀市薬王寺1835-3		
	内場 恭子 様		
会計	01 一般会計		
※ 21 項 04 目 04	第 01	細目 01	細目
金額	1,730 円		
内容	9月分議員コピー使用料		
担当課	800000 議会事務局		
納期限	発行日 平成 27年 10月 1日		
納付場所	左を参照してください。		
上記の金額を納期限までに納入してください。			
古賀市役所 古賀市長 中村 隆象			
取りまとめ店：福岡銀行 古賀支店			
上記金額を領収しました。	領収日付印		
この領収書は収納場所の領収印によってその効力を生じます。			

9

(納入者保管)

平成 27 年度

古賀市

納付書兼領収書				
納付者	811-3124 古賀市薬王寺1835-3			
	内場 恭子 様			
会計	01 一般会計			
※ 21 項	04 目	04	第 01 細節	01 細*第
金額	1,040 円			
内容	12月分議員コピー使用料			
担当課	800000 議会事務局			
納期限	発行日 平成 28 年 1 月 4 日			
納付場所	左を参照してください。			
上記の金額を納期限までに納入してください。				
古賀市役所 古賀市長 中村 隆象				
取りまとめ店：福岡銀行 古賀支店				
上記金額を領収しました。 この領収書は収納場所の領収印によってその効力を生じます。	領収日付印 			

(納入者保管)

9

領 収 証

2016年2月2日

内場 恭子 様

¥3,000※

但 書籍代として (生活困窮者への伴走型支援) 経済的困難に陥る方に対する トータルサポート
上記正に領収いたしました

11-1

福岡県北九州市八幡東区荒生

特定非営利活動法人抱樸

理事

11-2

領 収 証

No. _____

古賀市議会議員
由場莉子様

2015年10月16日

★ ¥3,000 -
但 古賀市の経済の発展
上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等 (%)

コクヨ ウケ-78

公益社団法人福岡県自治体問題研究所

事務局長

〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅南1-19-3-508

TEL&FAX 092-472-4675

請求書 2016年3月23日 No. _____

〒811-3111 福岡県古賀市花見南

内場 恭子 様 日本共産党宗像・粕屋地区

下記のとおり御請求申し上げます
 TEL 092-942-
 FAX 092-942-

税込合計金額 ¥26,084 税率 % 消費税額

3391
 26,084 - (26,084 × 0.13)
 = 22,693

8

品名	数量	単価	金額 (税抜・税込)	摘要
1 民衆用紙代・印刷代				
2 用紙代	10.00		1,548.44	
3 印刷代	13.00	1.0	1,000.00	
4 マシ -	8	100	800	
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
合計				

コクヨ ウ-332

領収証

内場 恭子 様 No. _____

金額

¥26,084-

但 民衆用紙代・印刷代

2016年3月23日 上記正に領収いたしました

収入印紙

内訳

現金

小切手 /

手形 /

消費税額等(%)

〒811-3111 福岡県古賀市花見南2丁目

日本共産党宗像・粕屋地区

TEL 092-942-6

FAX 092-942-6

コクヨ ウケ-72